

# 愛知県美術館年報



## 目次

展示・展覧会	7
1999年度観覧者数一覧	7
所蔵作品展	8
所蔵作品展展示作品リスト	9
小企画展（テーマ展示）	22
企画展	24
移動美術館	35
作品の収集と保存管理	37
作品の収集	37
収集方針・収集の状況など	37
新収蔵作品	38
保存・修復	40
所蔵作品の貸出	42
教育普及	46
出版・発行	46
講演会・講座等	46
ギャラリートーク	47
各種鑑賞プログラム	47
ビデオトーク	47
博物館実習	47
友の会	48
調査研究	50
ギャラリー（貸館）	51
利用状況	51
利用団体一覧	52
組織および職員構成図	54
関係役員会員名簿	55



# 展示・展覧会

## 1999年度観覧者数一覧

### 所蔵作品展

※( )は年度内(1999年4月1日—2000年3月31日)の数字

展示期	会期	日数	入場者数	一日平均
1999年度第Ⅰ期	1999年4月23日—8月22日	102 (112)	21,903 (24,892)	214 (222)
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		(22,793) (2,099)	(203) (19)
1999年度第Ⅱ期	9月3日—12月23日	93	26,731	287
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		20,648 6,083	222 65
1999年度第Ⅲ期	2000年1月5日—4月2日	77 (75)	107,445 107,359	1,395 1,431
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		(105,985) (1,374)	(1,413) (18)
	合計	(280)	(158,982)	(568)
	企画展共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数		(149,426) (9,556)	(534) (34)

### 企画展

展覧会名	会期・日数	入場者数	一日平均
ファウスト・メロッティ展	1999年4月23日—6月13日 (45日間)	13,614	302
前田寛治の芸術	7月2日—8月22日 (45日間)	14,851	330
危機の時代と絵画	9月3日—10月17日 (39日間)	8,379	214
生誕100年 関根正二展	10月29日—12月12日 (39日間)	22,719	582
セザンヌ展	2000年1月5日—3月12日 (59日間)	171,060	2,899
合計	(227日間)	230,623	1,015

## 所蔵作品展・小企画展（テーマ展示）

### 所蔵作品展

所蔵作品によって20世紀の美術を系統的に展示紹介することを基本として、大きく3期に分けて所蔵作品展を開催した。各期ともそれぞれ前・後期に分け、日本画・素描・版画など部分的に展示替を行った。

### 小企画展（テーマ展示）

所蔵作品展示エリアの一部を用いて、特定のテーマに基づく小企画展を開催している。これは必ずしも所蔵作品によらず、20世紀美術史上重要な作家や運動、現代美術の新しい動向などを簡潔・敏捷に紹介したり、学芸員の調査研究活動を展示によって発表する場として企図されている。1992年の開館以来年に2～4回ほど開催してきたが、1999年度は下記の1展を開催した。

「伊藤福紫展」 1999年4月23日－6月27日（第Ⅰ期前期）

### 1999年度所蔵作品展開催状況

展示期	会期・日数	展示作品数
第Ⅰ期前期	1999年4月23日－6月27日(57日間)	絵画82 彫刻17 素描5 版画11 計115
後期	7月2日－8月22日(45日間)	絵画83 彫刻23 素描20 版画19 計145
第Ⅱ期前期	9月3日－10月24日(45日間)	絵画84 彫刻21 素描13 版画41 計159
後期	10月29日－12月23日(51日間)	絵画86 彫刻20 素描23 版画11 計140
第Ⅲ期前期	2000年1月5日－2月20日(35日間)	絵画92 彫刻24 素描1 版画20 計137
後期	2月22日－4月2日(35日間)	絵画86 彫刻23 素描1 版画1 計111

### 展示室構成（○中の数字は展示室番号）

第Ⅰ期前期	④20世紀前半の西欧美術 ⑤20世紀の美術 ⑥テーマ展：伊藤福紫 空間と時間の中に ⑦戦後の日本画 ⑧特集展示：高橋由一と明治の洋画
第Ⅰ期後期	④20世紀前半の西欧美術 ⑤20世紀の美術 ⑥特集展示：長谷川潔の銅版画 その1 ⑦特集展示：岸田劉生とその周辺 ⑧特集展示：坂本繁二郎の芸術
第Ⅱ期前期	③特集展示：アンドリュー・ワイエスの世界I ④近代の洋画 ⑤20世紀の美術 ⑥特集展示：オットー・ディックスの《戦争》 ⑦特集展示：谷中安規の木版画 ⑧特集展示：戦後の日本画－東京国立近代美術館所蔵品による
第Ⅱ期後期	③特集展示：パウル・クレーの芸術 ④特集展示：アンドリュー・ワイエスの世界II ⑤20世紀の美術 ⑥特集展示：告発する絵画 ⑦特集展示：川合玉堂《雲龍図》と郷土の日本画 ⑧特集展示：戦後具象表現の諸相－東京国立近代美術館所蔵品による
第Ⅲ期前期	④近代の日本画 ⑤20世紀の美術 ⑥キュビズムの版画 ⑦特集展示：日本のセザニズム ⑧特集展示：坂本繁二郎の芸術
第Ⅲ期後期	④戦後の日本画 ⑤20世紀の美術 ⑥新収蔵作品展 ⑦特集展示：日本のセザニズム ⑧特集展示：坂本繁二郎の芸術

■1999年度 第I期 前期(4月23日-6月27日)

展示室4 20世紀前半の西欧美術

〈絵画〉

パブロ・ピカソ	青い肩かけの女	1902
エドワール・ヴュイヤール	窓辺の女	1898
アルベール・マルケ	ノートルダムの後陣	1902
ラウル・デュフィ	サンタドレスの浜辺	1906
ピエール・ボナール	子供と猫	1906頃
ピエール・ボナール	にぎやかな風景	1913頃
アンリ・マティス	待つ	1921-22
藤田嗣治	青衣の女	1925
エミール・ノルデ	静物L(アマゾーン、能面等)	1915
グスタフ・クリムト	人生は戦いなり(黄金の騎士)	1903
エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	グラスのある静物	1912
クルト・シュヴァッタース	メルツ絵画52 美容	1920
クルト・シュヴァッタース	メルツ絵画305 ロボジツ	1921
ジャック・ヴィヨン	存在	1920
フランティシェク・クブカ	灰色と金色の展開	1919
ベン・ニコルソン	1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	1933
パウル・クレー	回心した女の堕落	1939
パウル・クレー	女の館	1921
ライオネル・ファインガー	夕暮れの海 I	1927
ジョージア・オキーフ	抽象 第6番	1928
ジョアン・ミロ	絵画	1925

ポール・デルヴォー	こだま	1943
マックス・エルンスト	ポーランドの騎士	1954

〈素描〉

フランシス・ビカビア	糸巻き	1921-22
ジャコモ・バッラ	太陽の前を通過する水星(習作)	1914

〈版画〉

ラースロー・モホリ=ナジ	コンストラクション	1922-23
ラースロー・モホリ=ナジ	コンストラクション	1922-23

〈立体〉

メダルド・ロツソ	病める子	1893
レイモン・デュシャン=ヴィヨン	恋人たち	1913

ハンス・アルプ	森	1917頃
アレクサンダー・コールダー	片膝について	1944

展示室5 20世紀の美術

〈絵画〉

神原 泰	生命の流動	1924
山口 長男	庭	1935

村井 正誠	ゴルフジュアンの船	1929
村井 正誠	Cité B	1940

村井 正誠	天使	1950
瑛九	黄色い花	1957-58

山口 薫	ボタン雪と騎手	1953
脇田 和	断層の人と鳥	1960

麻生 三郎	胴体と頭と電球	1964
オノサト・トシノブ	三つの黒	1958

猪熊弦一郎	マンハッタンA	1966
山口 長男	屏形	1963

斎藤 義重	作品	1962
ニコラ・ド・スター	コンポジション	1948

ジャン・デュビュッフェ	二人の脱走兵	1953
アントニ・タピエス	コンポジション	1977

今井 俊満	東方の光	1960
白髮 一雄	作品	1963

元永 定正	作品	1961
田淵 安一	有機的抽象	1955

サム・フランシス	消失に向かう地点の青	1958
デイヴィッド・スミス	チャイニーズ・レストラン 1959・寄託作品	

堂本 尚郎	絵画1962-25	1962
ルーチョ・フォンターナ	空間概念	1960

荒川 修作	作品	1963
アド・ラインハート	No. 114	1950

フランク・ステラ	River of Ponds IV	1969
三尾 公三	鏡の前	1982

上田 薫	なま玉子G	1976
中西 夏之	紫むらさき XIX	1983

アグネス・マーティン	無題3	1959・寄託作品

加納 光於	繁み・運動・エレメントB	1988
モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61
野見山暁治	伝承のかたち	1988
松本 陽子	光は荒野の中に拡散している	1993
辰野登恵子	Untitled 95-1	1995
根岸 芳郎	1997-11-18	1997・寄託作品

〈立 体〉

堀内 正和	四角と丸の組合せb	1956
ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
ジム・ダイン	芝刈機	1962
ルイズ・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66
舟越 桂	肩で眠る月	1996

展示室6 テーマ展 伊藤福紫  
空間と時間の中に—

空間と時間の中に 1804	1998
空間と時間の中に 1805	1998
空間と時間の中に 1806	1998
空間と時間の中に 1807	1998
空間と時間の中に 1902	1999
空間と時間の中に 1904	1999
空間と時間の中に 1905	1999

展示室7 戦後の日本画

加山 又造	黒い鳥	1957
竹内 浩一	その朝	1972

近藤 弘明	幽光	1981
平松 礼二	峰四題・花の季	1992
後藤 純男	春映法隆寺	1980
田渕 俊夫	すぎばやし	1989
山本 丘人	幻雪	1978
平川敏夫	黄山松雨	1982
工藤甲人	坐忘	1982

展示室8 特集展示 高橋由一と明治の洋画

高橋由一	不忍池	1880頃
山本 芳翠	西洋裸婦	1882頃
浅井 忠	八王子付近の街	1887
久米桂一郎	秋景	1892
黒田 清輝	暖き日	1897
藤島 武二	ポンペイの遺跡	1908-9・寄託作品
長原孝太郎	山村	1919

青木 繁	太田の森	1902
梅原龍三郎	横臥裸婦	1908頃
山下新太郎	白耳義の少女	1909
安井曾太郎	婦人像	1912頃
坂本繁二郎	海岸の家	1915

安井曾太郎	静物	1906
安井曾太郎	人体(男)	1907

安井曾太郎	人体(女)	1907
-------	-------	------

〈立 体〉

戸張孤雁	立てる女	1911
------	------	------

■ロビーなど

エドワード・ジョン・ボインター	世界の若かりし頃	1891
-----------------	----------	------

〈立 体〉

ジョルジ・ミンヌ	聖遺物箱を担ぐ少年	1897
----------	-----------	------

オーギュスト・ロダン	歩く人	1900
------------	-----	------

ヴィルヘルム・レームブルック	立ち上がる青年	1913
----------------	---------	------

ジャコモ・マンズー	ある主題によるヴァリエーション	1947-66
-----------	-----------------	---------

工藤 哲巳	果てしなく綾糸がまとまるマルセル・デュシャン—予定された未来と固定化された過去の間での瞑想—	1977
-------	--	------

荒木 高子	砂の聖書	1983
-------	------	------

本郷 新	無辜の民「油田地帯」	1970
------	------------	------

〈版 画〉

中林 忠良	囚われる風景1	1973
-------	---------	------

中林 忠良	Position'80 腐蝕1	1980
-------	-----------------	------

中林 忠良	転位'84-地-1	1984
-------	-----------	------

中林 忠良	転位'86-地-3	1986
-------	-----------	------

■屋外展示スペース

〈立 体〉

コレネリス・ジットマン	カリブの女	1983
-------------	-------	------

アルナルド・ボモドーロ	飛躍の瞬間	1984
-------------	-------	------

加藤 昭男	大地	小田 襄	円柱の構造	今井 瑞郎	大地
	1986		1988		1992

## ■1999年度 第I期 後期(7月2日-8月22日)

### 展示室4 20世紀前半の西欧美術

#### 〈絵 画〉

パブロ・ピカソ 青い肩かけの女 1902

エドワール・ヴュイヤール 窓辺の女 1898

アルベール・マルケ ノートルダムの後陣 1902

ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺 1906

ピエール・ボナール 子供と猫 1906頃

ピエール・ボナール にぎやかな風景 1913頃

アンリ・マティス 待つ 1921-22

藤田 嗣治 青衣の女 1925

エミール・ノルデ 静物L(アマゾーン、能面等) 1915

グスタフ・クリムト 人生は戦いなり(黄金の騎士) 1903

エルンスト・ルードヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物 1912

ジャック・ヴィヨン 存在 1920

フランティシェク・クブカ 灰色と金色の展開 1919

ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ) 1933

パウル・クレー 小さな秋の風景 1920・東京国立近代美術館蔵

パウル・クレー 女の館 1921

ライオネル・ファイninger 夕暮れの海 I 1927

ジョージア・オキーフ 抽象 第6番 1928

ジョアン・ミロ 絵画 1925

ポール・デルヴォー こだま 1943

マックス・エルンスト ポーランドの騎士 1954

#### 〈素 描〉

ジャーコモ・バッラ 太陽の前を通過する水星(習作) 1914

カシミル・マレーヴィチ シュプレマティズムの素描(断片) 1914-15・東京国立近代美術館蔵

カシミル・マレーヴィチ 黒い正方形と白い管状の形態 1915・東京国立近代美術館蔵

カシミル・マレーヴィチ シュプレマティズムの素描の連作より 1917-18・東京国立近代美術館蔵

#### 〈版 画〉

カシミル・マレーヴィチ 建設者の完全な肖像 1913

カシミル・マレーヴィチ 祈り 1913

#### 〈立 体〉

メダルド・ロツソ 病める子 1893

レイモン・デュシャン=ヴロン 恋人たち 1913

ハンス・アルブ 森 1917頃

アレクサンダー・コールダー 片膝について 1944

### 展示室5 20世紀後半の美術

#### 〈絵 画〉

神原 泰 生命の流動 1924

山口 長男 庭 1935

村井 正誠 ゴルフジュアンの船 1929

村井 正誠 Cité B 1940

村井 正誠 天使 1950

瑛 九 黄色い花 1957-58

山口 薫 ボタン雪と騎手 1953

脇田 和 断層の人と鳥 1960

麻生 三郎 胴体と頭と電球 1964

オノサト・トシノブ 三つの黒 1958

斎藤 義重 ゼロイスト 1973

猪熊弦一郎 マンハッタンA 1966(8/2より)

山口 長男 屏形 1963

斎藤 義重 作品 1962

ニコラ・ド・スター コンポジション 1948

ジャン・デュビュッフェ 二人の脱走兵 1953

アントニ・タビエス コンポジション 1977

瑛九 田園 1962・寄託作品

白髪 一雄 作品 1963

元永 定正 作品 1961

田淵 安一 有機的抽象 1955

サム・フランシス 消失に向かう地点の青 1958

デイヴィッド・スミス チャイニーズ・レストラン 1959・寄託作品

堂本 尚郎 絵画1962-25 1962

ルーチョ・ファンターナ 空間概念 1960

荒川 修作	作品	1963	サン・ポール・ド・ヴァンスの風景	1936	岸田 劉生	義母の肖像		
アド・ラインハート	No. 114	1950	花(切子グラスに挿したアネモネと草花)	1944-45	岸田 劉生	自画像		
フランク・ステラ	River of Ponds IV	1969	アカシアの老樹	1954	岸田 劉生	村娘於松立像		
三尾 公三	鏡の前	1982	木と月	1945	岸田 劉生	[イヴを求めるアダム]		
上田 薫	なま玉子G	1976	野辺小禽	1957	岸田 劉生	The Earth		
中西 夏之	紫むらさき XIX	1983	小鳥と胡蝶	1961	岸田 劉生	[人類の意志]下絵		
アグネス・マーティン	無題3	1959・寄託作品	骰子独楽と幸福の星	1961	岸田 劉生	(エターナル・アイドル)下絵		
加納 光於	繁み・運動・エレメントB	1988	展示室7 特集展示 岸田劉生とその周辺			岸田 劉生	明治屋のショーウインド	
モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61	<絵画>			岸田 劉生	[宗教的モチーフの群像]	
野見山暁治	伝承のかたち	1988	大沢鉢一郎	母の像	1916・東京国立近代美術館蔵	岸田 劉生	[群像]	
松本 陽子	光は荒野の中に拡散している	1993	大沢鉢一郎	自画像	1919	岸田 劉生	三人の子供	
辰野登恵子	Untitled 95-1	1995	大沢鉢一郎	大曾根風景	1919	岸田 劉生	壺の模様図案	
根岸 芳郎	1997-11-18	1997・寄託作品	大沢鉢一郎	ジンベを着た少女	1920	岸田 劉生	かちかち山	
<立 体>			岸田 劉生	齊藤与里氏像	1913	<版画>		
堀内 正和	四角と丸の組合せb	1956	岸田 劉生	B.Lの肖像(バーナード・リーチ像)	1913・東京国立近代美術館蔵	岸田 劉生	「天地創造」より1.欲望	
ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965	岸田 劉生	高須光治君の肖像	1915	岸田 劉生	「天地創造」より2.怒れるアダム	
ジム・ダイン	芝刈機	1962	木村 莊八	壺を持つ女	1915	岸田 劉生	「天地創造」より3.石を噛む人	
レイズ・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66	木村 莊八	自画像	1913・東京国立近代美術館蔵	展示室8 特集展示 坂本繁二郎の芸術		
舟越 桂	肩で眠る月	1996	宮脇 晴	自画像	1920	<絵画>		
展示室6 特集展示 長谷川潔の銅版画 その1			宮脇 晴	お手玉の少女	1922	海岸の家	1915	
<版画>			宮脇 晴	母六十六歳之像	1924・東京国立近代美術館蔵	豚	1915・東京国立近代美術館蔵	
サン・ポール・ド・ヴァンスの村			岸田 劉生	秦	1918	牧場	1915・寄託作品	
野の枯草			岸田 劉生	草	1916・東京国立近代美術館蔵	鳶形山	1932・寄託作品	
二つのアネモネ			<素描>			松間馬	1938頃・寄託作品	

馬	1916-41・寄託作品
柿	1942・寄託作品
砥石	1943・寄託作品
壁画下図	1944・寄託作品
〈素描〉	
張物下絵	1910頃
<b>■ロビーなど</b>	
〈絵画〉	
エドワード・ジョン・ボンター 世界の若かりし頃	1891
菅井 淩 ナショナル ルート No.11	1964
佐々木四郎 閉ざされた空間	1979

〈版画〉	
野田 哲也	日記1976年2月11日 1976
野田 哲也	日記1978年2月10日 1978
野田 哲也	日記1978年8月19日 1978
野田 哲也	日記1983年2月27日 1983
〈立体〉	
ジョルジュ・ミンヌ 聖遺物箱を担ぐ少年	1897
オーギュスト・ロダン 歩く人	1900
ヴィルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年	1913
ジャコモ・マンズー ある主題によるヴァリエーション	1947-66
工藤 哲巳 果てしなく綾糸がまとわる マルセル・デュシャン	1977

荒木 高子 砂の聖書	1983
本郷 新 無辜の民「油田地帯」	1970
土谷 武 植物空間	1990
加藤 昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996
<b>屋外展示スペース</b>	
〈立体〉	
コルネリス・ジットマン カリブの女	1983
アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間	1984
加藤 昭男 大地	1986
小田 襄 円柱の構造	1988
今井 瑞郎 大地	1992

## ■1999年度 第Ⅱ期 前期(9月3日-10月24日)

展示室3 特集展示 アンドリュー・ワイエスの世界I	
〈絵画〉	
バザーズ・グローリー	1968・寄託作品
ノジーシク	1972・寄託作品
ケープ族出身	1974・寄託作品
クエーカー教徒	1975・寄託作品
〈水彩・素描〉	
巻き貝	1953・寄託作品
ティールの島	1954・寄託作品
境界線	1967・寄託作品
木材運搬用そり	1968・寄託作品

エルウェルの製材所	1968・寄託作品
自由な人	1969・寄託作品
トウヒの大枝	1969・寄託作品
カナダ	1974・寄託作品
カス	1975・寄託作品
ローデン・コート	1975・寄託作品

前室	
〈絵画〉	
梅原龍三郎 横臥裸婦	1908頃
戸張 孤雁 立てる女	1911

展示室4 近代の洋画	
〈絵画〉	
高橋 由一 不忍池	1880
山下新太郎 白耳義の少女	1909
安井曾太郎 春の家	1911・東京国立近代美術館蔵
太田喜二郎 新緑の頃	1912頃・東京国立近代美術館蔵
中村 篓 少女裸像	1914
坂本繁二郎 牧場	1915・寄託作品
小出 横重 ラッパを持てる少年	1923・東京国立近代美術館蔵
岸田 劉生 B.Lの肖像(バーナード・リーチ像)	1913(東京国立近代美術館蔵)
岸田 劉生 高須光治君之肖像	1915

河野 通勢	好子像	アメデオ・モディリアーニ カリアティード	サム・フランシス	消失に向かう地点の青
1916・東京国立近代美術館蔵	1911-13	1958		
木村 荘八	壺を持つ女	ラウル・デュフィ サンタレスの浜辺	アド・ラインハート	No. 114
1915	1906	1950		
藤島 武二	港の朝陽	ピエール・ボナール 子供と猫	アグネス・マーティン	無題3
1935・東京国立近代美術館蔵	1906頃	1959・寄託作品		
前田 寛治	労働者	ピエール・ボナール にぎやかな風景	瑛九	田園
1925頃・東京国立近代美術館蔵	1913頃	1962・寄託作品		
佐伯 祐三	自動車小屋	アンリ・マティス 待つ	猪熊弦一郎	Confusion and Order
1925・寄託作品	1921-22	1964・東京国立近代美術館蔵		
児島善三郎	鏡を持つ女	藤田 嗣治 青衣の女	桑山 忠明	無題(赤)
1928・東京国立近代美術館蔵	1925	1961・東京国立近代美術館蔵		
須田国太郎	法觀寺塔婆	藤田 嗣治 猫	山田 正亮	Work B No.182
1932・東京国立近代美術館蔵	1940・東京国立近代美術館蔵	1958		
小絲源太郎	嬪娟	エミール・ノルデ 静物L(アマゾーン、能面等)	李 禹煥	点より
1937・東京国立近代美術館蔵	1915	1977・東京国立近代美術館蔵		
津田 青楓	ブルジョワ議会と民衆生活(下絵)	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり(黄金の騎士)	中西 夏之	M字型-II
1931・東京国立近代美術館蔵	1903	1981		
石垣榮太郎	リンチ	エルンスト・ルートヴェルト・キルヒナー グラスのある静物	野見山暁治	伝承のかたち
1931・東京国立近代美術館蔵	1912	1968		
清水 登之	建築現場(ワーゲン)	ジャック・ヴィヨン 存在	田淵 安一	廷女たち
1923	1920	1964		
古賀 春江	夏山	フランティシェク・クプカ 灰色と金色の展開	堂本 尚郎	連続の溶解 64-10
1927	1919	1964・東京国立近代美術館蔵		
飯田 操朗	婦人の愛	ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	宇佐美圭司	ビッグ・バン
1935・東京国立近代美術館蔵	1933	1987		
北脇 升	空の訣別	パウル・クレー 女の館	〈立 体〉	
1937・東京国立近代美術館蔵	1921	1911-12		
海老原喜之助	二人の女	ライオネル・ファインガー 夕暮れの海 I	エルンスト・バルラッハ 忘我	
1927・東京国立近代美術館蔵	1927			
森 芳雄	肘をつく女	ナタリア・ゴンチャロヴァ スペイン女	オーギュスト・ロダン 歩く人	1900
1936・東京国立近代美術館蔵	1916/20頃・東京国立近代美術館蔵	1916/20頃・東京国立近代美術館蔵		
大沢 昌助	岩と人	ジョージア・オキーフ 抽象 第6番	ハンス・アルブ プラネット	星座
1940・東京国立近代美術館蔵	1928	1932		
牛島 憲之	立秋	ジョージア・オキーフ タチアオイの白	アレクサンダー・コールダー 片膝ついで	1944
1942・東京国立近代美術館蔵	1937・東京国立近代美術館蔵			
香月 泰男	釣り床	ジョアン・ミロ 絵画	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
1941・東京国立近代美術館蔵	1925			
<b>展示室5 20世紀の美術</b>				
〈絵 画〉				
エドゥワール・ヴュイヤール 窓辺の女	ポール・デルヴォー こだま	ルイス・ニーヴェルソン 漂う天界		
1898	1943	1959-66		
アルベルト・マルケ ノートルダムの後陣	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	舟越 桂 肩で眠る月		
1902	1954	1996		
パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	ハンス・リヒター 色のオーケストレーション	展示室6 特集展示 オットー・ディックスの(戦争)		
1902	1923・東京国立近代美術館蔵			
〈版 画〉				
アントニ・タピエス コンポジション	ルーチョ・ファンターナ 空間概念	オットー・ディックス 戦争		
	1977	1924		

### 〈立体〉

ケーテ・コルヴィッツ 恋人たちII  
1913

### 展示室7 特集展示 谷中安規の木版画

### 〈版画〉

自画像  
1932・東京国立近代美術館蔵

赤い人魚  
1932

宴  
1931頃・東京国立近代美術館蔵

飛ぶ首  
1927

月  
1932・東京国立近代美術館蔵

傷痕(龍善院回顧)三 別れの宴  
1932頃・東京国立近代美術館蔵

庭はき 内田百聞著『居候忽々』より  
1937・東京国立近代美術館蔵

影絵芝居 第一景 死魔の花を培ふ人今日も、不思議な花を育てて暮らす。1932・東京国立近代美術館蔵

影絵芝居 第五景 幻惑の花をくはへた……  
魔鳥は死盡の国を。1932・東京国立近代美術館蔵

影絵芝居 第六景 何處へ行く。  
1932・東京国立近代美術館蔵

影絵芝居 第七景 絵描きの幻想は、いつの間にか妻を飛行させる。  
魔鳥にいざなはれて。制作年不詳・東京国立近代美術館蔵

朝鮮  
1932

夢の国の駅  
1932・東京国立近代美術館蔵

少年時代  
1932・東京国立近代美術館蔵

浅草寺  
1933・東京国立近代美術館蔵

「堂庵夢がたり」屏挿絵  
1938

鳥と子供たち  
1937-40頃・東京国立近代美術館蔵

冥途 内田百聞著『冥途』表紙  
1934・東京国立近代美術館蔵

童子騎虎  
1939・東京国立近代美術館蔵

千里走獸  
1934・東京国立近代美術館蔵

童子騎象  
1939

ゴンドラの月 佐藤春夫著『FOU』挿絵  
1936

詩巻(こころの花1)  
1936

像  
1933・東京国立近代美術館蔵

版画集6 一族の長  
1933・東京国立近代美術館蔵

青春の墓標  
1933・東京国立近代美術館蔵

版画集4 虎ねむる  
1933

鶴をうつ  
1937・東京国立近代美術館蔵

龍を擊つ  
制作年不詳・東京国立近代美術館蔵

版画集8 花は花  
1933・東京国立近代美術館蔵

版画集5 夢想氏  
1933・東京国立近代美術館蔵

版画集3 蝶を吐く人  
1933

鉢植え  
制作年不詳・東京国立近代美術館蔵

鶯  
制作年不詳・東京国立近代美術館蔵

やつで  
制作年不詳・東京国立近代美術館蔵

かたつむり  
制作年不詳・東京国立近代美術館蔵

カット(馬)  
1931頃・東京国立近代美術館蔵

カット(鐘)  
制作年不詳・東京国立近代美術館蔵

『王様の背中』口絵  
1933/34・東京国立近代美術館蔵

『王様の背中』扉絵  
1934・東京国立近代美術館蔵

### 展示室8 特集展示 戦後の日本画 -東京国立近代美術館所蔵品による-

#### 〈日本画〉

中村 岳陵 少女  
1948

吉岡 堅二 濡原  
1948

徳岡 神泉 赤松  
1947

上村 松簾 朝  
1953

石本 正 桃花鳥  
1960

堅山 南風 応接間の人  
1958

徳岡 神泉 薄  
1966

岩橋 永遠 鶴  
1960

広田 多津 涼粧  
1968

### ■ロビーなど

#### 〈絵画〉

モーリス・ルイス デルタ・ミュー  
1960-61

フランク・ステラ River of Ponds IV  
1969

#### 〈水彩・素描〉

近藤 文雄 あいつ  
1962

近藤 文雄 裁き  
1962

近藤 文雄 さらしもの (3)  
1964

#### 〈立体〉

ヴィルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年  
1913

ジャーコモ・マンズー ある主題によるヴァリエーション  
1947-66

工藤 哲巳 果てなく綾糸がまとわる  
マルセル・デュシャン 1977

荒木 高子 砂の聖書  
1983

本郷 新 無辜の民「油田地帯」  
1970

加藤 昭男 ツタンカーメンのえんどう豆  
1996

土谷 武 植物空間  
1990

## 屋外展示スペース

〈立 体〉

コルネリス・ジットマン カリブの女

1983

アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間

1984

加藤 昭男 大地

1986

小田 襄

円柱の構造

1988

今井 瑞郎

大地

1992

## ■1999年度 第Ⅱ期 後期(10月29日-12月23日)

### 展示室3 特集展示 パウル・クレーの芸術

〈絵 画〉

小さな秋の風景

1920・東京国立近代美術館蔵

女の館

1921

回心した女の堕落

1939

〈水彩・素描〉

蛾の踊り

1923

〈版 画〉

喜劇役者(インヴェンション4)

1904

ペルセウス(既知は苦難に打勝った)

1904・東京国立近代美術館蔵

情熱の園

1913・東京国立近代美術館蔵

空中楼閣

1915・東京国立近代美術館蔵

破壊と希望

1916・東京国立近代美術館蔵

内面から光を発する聖女

1921・東京国立近代美術館蔵

ホフマン風の物語

1921・東京国立近代美術館蔵

櫛をつけた魔女

1922・東京国立近代美術館蔵

恋人(バウハウス・マイスター版画作品集より)

1923

崇高な面

1923・東京国立近代美術館蔵

刺のある道化師

1931・東京国立近代美術館蔵

### 前室

〈絵 画〉

岡 鹿之助

窓

1949

### 展示室4 特集展示 アンドリュー・ワイエスの世界Ⅱ

〈絵 画〉

干草の棚

1957・寄託作品

さらされた場所

1965・寄託作品

バザーズ・グローリー

1968・寄託作品

オルソン家の終わり

1969・寄託作品

ケープ族出身

1974・寄託作品

酒密輸人

1974・寄託作品

クエーカー教徒

1975・寄託作品

〈水彩・素描〉

自画像

1938・寄託作品

テナンツ・ハーバーとマーティンビル

1949頃・寄託作品

堰

1959・寄託作品

水路にかかる橋

1984・寄託作品

巻き貝

1953・寄託作品

ティールの島

1954・寄託作品

ノジーシク

1972・寄託作品

トムの小屋

1960・寄託作品

ピーター・ワイエス・ハード

1961・寄託作品

家庭菜園

1962・寄託作品

境界線

1967・寄託作品

クリスティーナのティー・ポット

1968・寄託作品

木材運搬用そり

1968・寄託作品

エルウェルの製材所

1968・寄託作品

フィンランド人

1969・寄託作品

リンゴ酒の樽

1969・寄託作品

自由な人

1969・寄託作品

雨雲

1969・寄託作品

トウヒの大枝

1969・寄託作品

カナダ

1974・寄託作品

カス

1975・寄託作品

ローデン・コート

1975・寄託作品

### 展示室5 20世紀の美術

〈絵 画〉

エドワード・ヴュイヤール 窓辺の女

1898

アルベル・マルケ	ノートルダムの後陣	1902
パブロ・ピカソ	青い肩かけの女	1902
アメデオ・モディリアーニ	カラティード	1911-13
ラウル・デュフィ	サンタレスの浜辺	1906
ピエール・ボナール	子供と猫	1906頃
ピエール・ボナール	にぎやかな風景	1913頃
アンリ・マティス	待つ	1921-22
藤田 嗣治	青衣の女	1925
藤田 嗣治	猫	1940・東京国立近代美術館蔵
エミール・ノルデ	静物L(アマゾーン、能面等)	1915
グスタフ・クリムト	人生は戦いなり(黄金の騎士)	1903
エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	グラスのある静物	1912
ジャック・ヴィヨン	存在	1920
フランティシェク・クプカ	灰色と金色の展開	1919
ベン・ニコルソン	1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	1933
ライオネル・ファインガー	夕暮れの海I	1927
ナタリア・ゴンチャロヴァ	スペイン女	1916/20頃・東京国立近代美術館蔵
ジョージア・オキーフ	抽象 第6番	1928
ジョージア・オキーフ	タチアオイの白	1937・東京国立近代美術館蔵
ジョアン・ミロ	絵画	1925
ポール・デルヴォー	こだま	1943
マックス・エルンスト	ポーランドの騎士	1954
ハンス・リヒター	色のオーケストレーション	1923・東京国立近代美術館蔵
ルーチョ・フォンターナ	空間概念	1960

アントニ・タピエス	コンポジション	1977
サム・フランシス	消失に向かう地点の青	1958
アド・ラインハート	No. 114	1950
アグネス・マーティン	無題3	1959・寄託作品
瑛九	田園	1962・寄託作品
猪熊弦一郎	Confusion and Order	1964・東京国立近代美術館蔵
桑山 忠明	無題(赤)	1961・東京国立近代美術館蔵
山田 正亮	Work B No.182	1958
李 福煥	点より	1977・東京国立近代美術館蔵
野見山暁治	伝承のかたち	1988
田淵 安一	廷女たち	1964
堂本 尚郎	連続の溶解 64-10	1964・東京国立近代美術館蔵
宇佐美圭司	ビッグ・バン	1987
〈立 体〉		
レイモン・デュシャン=ヴィヨン	恋人たち	1913
エルンスト・バルラッハ	忘我	1911-12
オーギュスト・ロダン	歩く人	1900
ハンス・アルブ	星座	1932
アレクサンダー・コールダー	片膝ついで	1944
ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
レイズ・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66
舟越 桂	肩で眠る月	1996

## 展示室6 特集展示 告発する絵画

### 〈絵 画〉

小山田二郎	こわす者	1955
小山田二郎	愛	1956
中村 宏	内乱期	1958
中村 宏	飛行する蒸気機関車	1969・東京国立近代美術館蔵
尾藤 豊	モスクワの地下鉄	1957
尾藤 豊	ダム工事現場	1957・東京国立近代美術館蔵
桂 ゆき	人と魚	1954
池田 龍雄	黒い機械	1956

## 展示室7 特集展示 川合玉堂《雲龍図》と郷土の日本画

### 〈日本画〉

川合 玉堂	雲龍図	1900頃・寄託作品
川合 玉堂	雲龍図	1918・寄託作品
太田 一彩	兎	1930頃
渡辺 幾春	少女	制作年不詳
横山 菴生	山峡の浅春	1929
我妻 碧宇	暮色	1955
石川 英鳳	猿候の図	1935
内田 土卵	北の山	1967
嶋谷 自然	南の島	1978

**展示室8 特集展示 戦後具象表現の諸相  
—東京国立近代美術館所蔵品による—**

〈絵画〉

鬼頭錦三郎	柿子による	1947
長谷川 潔	青い花瓶に挿した草花	1948
児島善三郎	花	1949
林 武	ばら	1959頃
鳥海 青児	畠	1953
脇田 和	貝殻と鳥	1954
糸園和三郎	壁の鳥	1957
井上長三郎	牛	1960
牛島 憲之	浜	1961
香月 泰男	雪	1969
鶴岡 政男	青いカーテン	1964

奥谷 博 針千本 1965

木村 忠太 ベニス(A) 1965

三尾 公三 Perspective in Blue "B" 1967

絹谷 幸二 アンセルモ氏の肖像 1973

■ロビーなど

〈絵画〉

モーリス・ルイス デルタ・ミュー 1960-61

フランク・ステラ River of Ponds IV 1969

尾藤 豊 摂点の崩壊 1959-60

松本 陽子 光は荒野の中に拡散している 1993

〈立体〉

ヴァルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年 1913

ジャコモ・マンズー ある主題によるヴァリエーション 1947-66

工藤 哲巳 果てしなく綾糸がまとまる  
マルセル・デュシャン 1977

荒木 高子 砂の聖書 1983

本郷 新 無辜の民「油田地帯」 1970

加藤 昭男 ツタンカーメンのえんどう豆 1996

上谷 武 植物空間 1990

屋外展示スペース

〈立体〉

コレネリス・ジットマン カリブの女 1983

アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間 1984

加藤 昭男 大地 1986

小田 襄 円柱の構造 1988

今井 瑞郎 大地 1992

■2000年度 第Ⅲ期 前期: 2000年1月5日-2月20日 後期: 2月22日-4月2日

展示室4 近代の日本画(前期)

〈日本画〉

橋本 雅邦	秋景山水図	1887
横山 大観	飛泉	1900
横山 大観	牡丹	1921
菱田 春草	紅葉山水	1908
富岡 鉄斎	巖様図	1924・寄託作品
竹内 栖鳳	狐狸図	1908頃
徳岡 神泉	狂女	1919頃・東京国立近代美術館蔵

広島 晃甫 青衣の女  
1919頃・東京国立近代美術館蔵

橋本 開雪 猿猴待月 1938頃

安田 鞠彦 月の兔 1934

土田 麦僊 南国早春 1915

入江 波光 南欧小景 1923

伊東 深水 雪の宵  
1930・東京国立近代美術館蔵

中村 岳陵 芦に白鷺鶴鳴図 1921頃

小茂田青樹 漁村早春 1921頃

速水 御舟 西郊小景 1923

小川 芋銭 沼四題 小鰐網  
1922・寄託作品

前田 青邨 朝鮮五題 水汲み  
1939・寄託作品

小林 古径 洗濯場 その1 1926

小林 古径 洗濯場 その2 1926

村上 華岳 魔障之図 1923

村上 華岳 散華 1939

#### 展示室4 戦後の日本画(後期)

##### 〈日本画〉

加山 又造	黒い鳥	1957
山口 華揚	飛火野	1965・東京国立近代美術館蔵
上村 松篁	玄鶴	1968
小松 均	富士山	1977
山本 丘人	幻雪	1978
竹内 浩一	風	1981
吉田 善彦	雨余桂林	1982
工藤 甲人	坐忘	1982
平川 敏夫	黄山松雨	1982
加藤 東一	伝承	1982
田淵 俊夫	すぎばやし	1989
平山 郁夫	楼蘭の遺跡・蜃	1990
東山 魁夷	雪の山郷	1991

#### 展示室5 20世紀の美術

##### 〈絵画〉

エドワール・ヴュイヤール	窓辺の女	1898
アルベルト・マルケ	ノートルダムの後陣	1902
パブロ・ピカソ	青い肩かけの女	1902 *前期のみ
パウル・クレー	女の館	1921 *前期のみ
アメデオ・モディリアーニ	カリアティード	1911-13
ラウル・デュフィ	サンタドレスの浜辺	1906
ピエール・ボナール	子供と猫	1906頃

ピエール・ボナール	にぎやかな風景	1913頃
-----------	---------	-------

アンリ・マティス	待つ	1921-22
----------	----	---------

藤田 嗣治	青衣の女	1925
-------	------	------

藤田 嗣治	猫	1940・東京国立近代美術館蔵
-------	---	-----------------

エミール・ノルデ	静物L(アマゾーン、能面等)	1915
----------	----------------	------

グスタフ・クリムト	人生は戦いなり(黄金の騎士)	1903
-----------	----------------	------

エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	グラスのある静物	1912 *前期のみ
--------------------	----------	------------

ジャック・ヴイヨン	存在	1920
-----------	----	------

フランティシェク・クプカ	灰色と金色の展開	1919
--------------	----------	------

ベン・ニコルソン	1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	1933
----------	------------------------	------

ライオネル・ファインガー	夕暮れの海 I	1927
--------------	---------	------

ナタリア・ゴンチャロヴァ	スペイン女	1916/20頃・東京国立近代美術館蔵
--------------	-------	---------------------

ジョージア・オキーフ	抽象 第6番	1928
------------	--------	------

ジョージア・オキーフ	タチアオイの白	1937・東京国立近代美術館蔵
------------	---------	-----------------

ハンス・リヒター	色のオーケストレーション	1923・東京国立近代美術館蔵
----------	--------------	-----------------

ジョアン・ミロ	絵画	1925
---------	----	------

ポール・デルヴォー	こだま	1943
-----------	-----	------

マックス・エルンスト	ポーランドの騎士	1954
------------	----------	------

ルーチョ・フォンターナ	空間概念	1960
-------------	------	------

アントニ・タビエス	コンポジション	1977
-----------	---------	------

サム・フランシス	消失に向かう地点の青	1958
----------	------------	------

アド・ラインハート	No. 114	1950
-----------	---------	------

アグネス・マーティン	無題3	1959・寄託作品
------------	-----	-----------

モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61
----------	---------	---------

フランク・ステラ	River of Ponds IV	1969
----------	-------------------	------

瑛九	田園	1962・寄託作品 *前期のみ
----	----	-----------------

斎藤 義重	作品	1962
-------	----	------

斎藤 義重	ゼロイスト	1973・原作1950 *後期のみ
-------	-------	-------------------

桑山 忠明	無題(赤)	1961・東京国立近代美術館蔵
-------	-------	-----------------

山田 正亮	Work B No.182	1958
-------	---------------	------

李 禹煥	点より	1977・東京国立近代美術館蔵
------	-----	-----------------

##### 〈立体〉

エルンスト・バルラッハ	忘我	1911-12
-------------	----	---------

オーギュスト・ロダン	歩く人	1900
------------	-----	------

ハンス・アルブ	星座	1932
---------	----	------

アレクサンダー・コールダー	片膝ついで	1944
---------------	-------	------

ジョージ・シーガル	ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
-----------	-----------------	------

ルイス・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66
-------------	------	---------

舟越 桂	肩で眠る月	1996
------	-------	------

岡本敦生／野田裕示	地殻—潜むかたち2	1996
-----------	-----------	------

#### 展示室6 キュビズムの版画(前期)

##### 〈版画〉

ジョルジ・ブラック	裸婦習作	1907-08
-----------	------	---------

ジョルジ・ブラック	小さなキュビズム的ギター	1909-10
-----------	--------------	---------

ジョルジ・ブラック	FOX	1911
-----------	-----	------

ジョルジ・ブラック	BASS	1911
-----------	------	------

ジョルジ・ブラック	PAL	1911
-----------	-----	------

ジョルジ・ブラック	JOB	1911
-----------	-----	------

ジョルジュ・ブラック	コンポジション(静物I)	1912
ジョルジュ・ブラック	コンポジション(グラスのある静物)	1912
パブロ・ピカソ	静物 果物皿	1909
パブロ・ピカソ	レオニー娘(マックス・ジャコブ『聖マトレル』挿画より)	1910
パブロ・ピカソ	テーブル(マックス・ジャコブ『聖マトレル』挿画より)	1910
パブロ・ピカソ	修道院(マックス・ジャコブ『聖マトレル』挿画より)	1910
パブロ・ピカソ	男の顔	1912
パブロ・ピカソ	男と犬	1914
パブロ・ピカソ	ギターを持つ男	1915
ジャック・ヴィヨン	食卓	1913
ジャック・ヴィヨン	横顔のイヴォンヌ	1913
ジャック・ヴィヨン	機械のある工場	1914
レイ・マルクーン	ギョーム・アボリネールの肖像	1912-20

## 展示室6 新収蔵作品展(後期)

〈絵画〉		
藤島 奨	静物	1969
藤島 奨	赤い帽子	1982
山田 光春	門	1936
山田 光春	蠢	1937
〈版画〉		
木野盛一著/長谷川潔挿画	『竹取物語』	1934
〈立体〉		
久野 真	石膏による作品P.L.3x6-U	1957
久野 真	鉛による作品	1962

久野 真	Relief Painting(2)	1997
伊藤 福紫	時間と空間の中に1805	1998

## 展示室7 特集展示 日本のセザニスム

〈絵画〉		
安井曾太郎	婦人像	1912頃
木村 荘八	自画像	1913・東京国立近代美術館蔵
岸田 劉生	齊藤与里氏像	1913
岸田 劉生	B.Lの肖像(バーナード・リーチ像)	1913・東京国立近代美術館蔵
中村 篤	静物	1914
森田 恒友	婦人像	1914・東京国立近代美術館蔵
森田 恒友	フランス風景	1914・東京国立近代美術館蔵
足立源一郎	伊太利の男	1915・東京国立近代美術館蔵
山本 鼎	裸婦	1915・東京国立近代美術館蔵
小出 楠重	N婦人像	1918
正宗得三郎	モレーの冬	1922・東京国立近代美術館蔵
林 傑衛	サント・ヴィクトワール山	1925
前田 寛治	褐衣婦人像	1925
小林 和作	人形を持つ娘	1928・東京国立近代美術館蔵
伊藤 康	肘をつく女	1929
佐分 真	午後	1932・東京国立近代美術館蔵
安井曾太郎	安部能成像	1944・東京国立近代美術館蔵
佐竹 徳(徳次郎)	オリーブと海	1967・東京国立近代美術館蔵

〈立體〉		
久野 真	石膏による作品P.L.3x6-U	1957
久野 真	鉛による作品	1962

## 展示室8 特集展示 坂本繁二郎の芸術

〈絵画〉		
海岸の家		1915
豚	1915・東京国立近代美術館蔵	
牧場	1915・寄託作品	
鳶形山	1932・寄託作品	
松間馬	1938頃・寄託作品	
馬	1916-41・寄託作品	
柿	1942・寄託作品	
砥石	1943・寄託作品	
壁画下図	1944・寄託作品	
〈水彩・素描〉		
張物下絵		1910頃
ロビーなど(前期)		
〈絵画〉		
山口 華楊	耕牛	1934年・東京国立近代美術館蔵
〈版画〉		
北川 民次	メキシコの女	1937頃
北川 民次	メキシコの浴み	1941頃
北川 民次	タスコの裸婦	1941頃
北川 民次	版画集〈瀬戸十景〉	1937頃
〈立体〉		
ヴァルヘルム・レームブルック	立ち上がる青年	1913
ジャーコモ・マンズー	踊りのステップ	1953

ジャコモ・マンズー ある主題によるヴァリエーション  
1947-66

戸張 孤雁 立てる女  
1911

戸張 孤雁 トルソ  
1922

戸張 孤雁 煌めく嫉妬  
1924

\*後期展示替え

〈日本画〉

平松 礼二 峯四題・白い花  
1992

平松 礼二 峯四題・家路  
1992

平松 礼二 峯四題・雨  
1992

平松 礼二 峯四題・花の季  
1992

水谷 勇夫 玩具  
1960

水谷 勇夫 口上人  
1960

下村良之助 鼓舞  
1964

小嶋 悠司 穢土  
1985

岡村桂三郎 朱雀  
1993

屋外展示スペース

〈立 体〉

コルネリス・ジットマン カリブの女  
1983

アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間  
1984

加藤 昭男 大地  
1986

小田 襄 円柱の構造  
1988

今井 瑞郎 大地  
1992

## 小企画展(テーマ展示)

### 伊藤福紫展－時間と空間の中に－

会期 1999年4月23日—6月27日

会場 展示室6、展示前室2

担当 高橋秀治

協力 Gallerie d'Arte Niccoli、児玉イタリア資料室、ギャラリー風、加藤芸術計画室

内容 出品点数 7点

1952年名古屋に生まれた伊藤福紫は、東京芸術大学日本画科を卒業、さらに大学院に学んだ後、イタリアに渡った。イタリアでは、当初日本人の作家グループに属しながら活動した。そのなかで伝統的な日本画から離れ、様々な素材に積極的に取り組み、その表現も大きく変貌した。特にグループ解散後、和紙とアクリル、そしてネオン管による光を組み合わせて設置する作品を作るようになって独自の表現を見出した。その制作は環境を意識したものであり、また、最近はさらにコンピュータを用いたドローイングを組み合わせたり、その映像を古代遺跡に投映するパフォーマンスを行なうなど、ますます積極的な展開を見せている。

出身地である名古屋でのまとまった紹介は、初めてと言ってよく、ネオンの光と和紙を組み合わせる彼女独自の造形世界を紹介し、また、美術表現の領域の広がりを理解してもらう機会を提供できた。

カタログ A4変形 (30.0×22.5cm) 4色、48ページ

テキスト 高橋秀治「伊藤福紫のあゆみ」

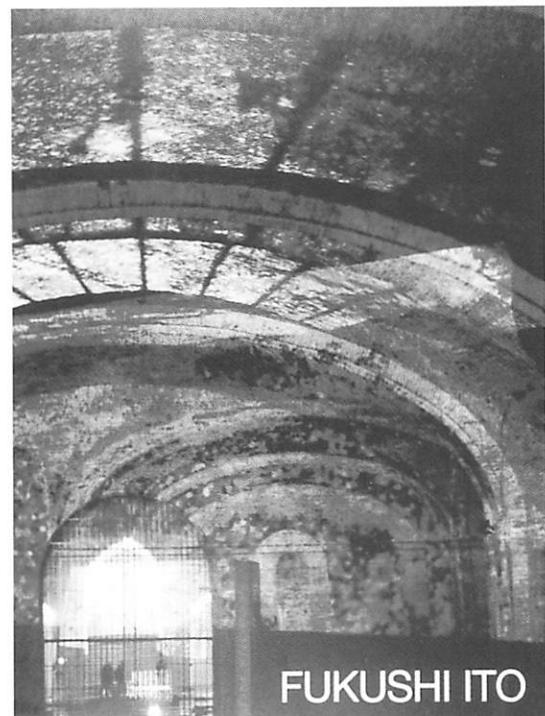
編集 高橋秀治

制作 印象社

発行 愛知県美術館

#### 【新聞】

- ・(H) 「トピックス：自然と先端技術の融合図る」  
『産経新聞』1999年5月2日朝刊
- 「近況・心境：自己と宇宙のリズムを交歓」  
『朝日新聞』1999年5月8日朝刊
- ・石川健次 「美術：光や和紙が彩る劇的空間」  
『毎日新聞』1999年5月25日夕刊
- ・(昇) 「孤絶した時空へ誘う」  
『中日新聞』1999年5月27日夕刊



特集展示

## アンドリュー・ワイエスの世界

## 会期 「アンドリュー・ワイエスの世界(1)」

9月3日-10月24日

## 「アンドリュー・ワイエスの世界(2)」

10月29日-12月23日

担当 高橋秀治

当館では、1995年に企画展として開催した「アンドリュー・ワイエス展」のために作品を借用した所蔵先をはじめ3つの所蔵先から、出品作15点を含む総数32点の寄託を受けていた。前期は半分を展示したが、会期途中に大部分を寄託していた所蔵先より返還の申し出があり、後期は最後のまとまった紹介としてワイエスの作品すべてを展示した。内容的にはたいへんバランスの取れたコレクションであり、ワイエスの画業を概観できるものであった。また、見納めということで新聞紙面上で大きく取り上げられ、12月に入ってからも、入場者数が衰えなかった。

【新聞】

- ・「ワイエス絵画国外に流出へ」  
『中日新聞』1999年11月27日朝刊一面
  - ・「ワイエス絵画名古屋で見納め」  
『名古屋タイムス』1999年12月11日夕刊
  - ・「A.ワイエス効果人波」  
『朝日新聞』1999年12月23日朝刊



## 企画展

### 魔法の庭…詩とかたちのフーガーファウスト・メロッティ展 Fausto Melotti (1901–1986)

会期 2000年4月23日（金）～6月13日（日） 45日間  
主催 愛知県美術館／毎日新聞社  
後援 イタリア大使館／イタリア文化会館／ZIP-FM／  
愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会  
協力 アリタリア航空  
助成 アサヒビール芸術文化財団  
企画協力 メロッティ・コレクション、ミラノ  
観覧料 一般1,100円 高校・大学生800円 小・中学生500円  
(前売り・団体は200円引)  
担当 拝戸雅彦／寺門臨太郎

内容 出品点数：立体作品69点、陶器5点、素描30点

ヨーロッパ以外の地で初めて開催されたメロッティの回顧展。1930年代のイタリアでいち早く抽象彫刻を完成させた先駆的な芸術家で、音楽、建築、そして詩とを、詩情溢れる立体造形へと昇華した彼の彫刻を回顧的に紹介した。

展覧会カタログ A4判変形 (30×22.5cm) 242ページ

テキスト 拝戸雅彦「メロッティの多様さとその意味（形而上学と対位法）」

ヴァンニ・シャイヴィラー「我々のメロッティ—メロッティの出版者としての父ジョヴァンニ・シャイヴィラーと私」

ジョヴァンニ・マルツァーリ「形態の重みからの解放—メロッティと1930年代の建築」

ヨーレ・デ・サンナ「作陶の芸術家、メロッティ」

カタログ 1926-1933 初期の素描

1934-1935 幾何学の言語

1945-1958 陶器と<小劇場>の連作

1959-1963 真鍮彫刻への取り組みと基本造形言語の確立

1964-1969 抽象彫刻への再挑戦

1970-1986 対位法の完成

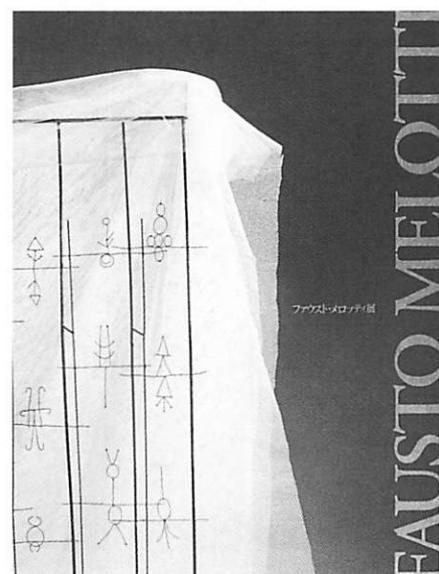
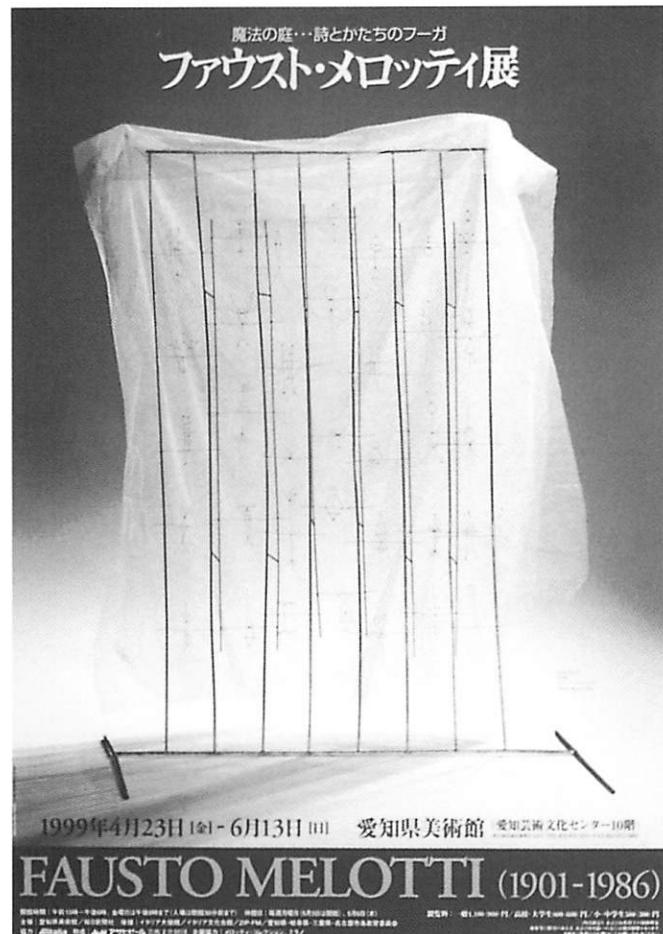
主要作品解説 ヨーレ・デ・サンナ

テキスト フラヴィオ・フェルゴンツィ「批評史におけるフーアウスト・メロッティ」  
「メロッティのテキスト抄」

編集 拝戸／寺門

制作 印象社

発行 愛知県美術館／毎日新聞社



## 関連事業

### 講演会

4月24日（土）「20世紀イタリア美術における日本の影響  
—モディリアーニからメロッティまで」  
講師 ヴァンニ・シャイヴィラー（評論家）

5月15日（土）「ファンターナとメロッティ」  
講師 拝戸雅彦

### ギャラリー・トーク

5月8日（土）担当：拜戸

5月22日（土）担当：拜戸

5月29日（土）担当：拜戸

### 小・中・高の先生方への展示説明会

4月24日（土）

### 友の会鑑賞会

5月13日（木）講師：拜戸



総入場者数 13,614人（1日平均入場者数：302.5人）

## 主要関連記事

### 【定期刊行物】

拜戸 「ファウスト・メロッティの旅」  
『AAC』27（1999）

三上豊 「美しいメロッティ展」（新美術批評）  
『新美術新聞』1999年6月11日付

峯村敏明 「ファウスト・メロッティ展」  
『美術手帖』1999年8月号

### 【新聞】

井上隆生 「竹ひごを連想する繊細さ」（スポットライト）  
『朝日新聞』1999年5月13日付夕刊地方版

井上昇治 「静かな旋律を奏でる詩的で温かい世界」  
『中日新聞』1999年5月17日付夕刊地方版

無署名 「幾何学模様の抽象彫刻」  
『日本経済新聞』1999年5月20日付夕刊地方版

長谷川三郎 「謎めく幾何学的空间」  
『日本経済新聞』1999年5月27日付夕刊地方版

山口泰二 「マックスを捨てたリズムと叙情」  
『赤旗』1999年5月28日付朝刊全国版

早瀬廣美 「ファウスト・メロッティ展」（くらしの美）  
『産経新聞』1999年5月30日付朝刊地方版

坂本憲一 「メロッティが目指した軽やかな彫刻」（文化往来）  
『日本経済新聞』1999年6月5日付朝刊全国版

# 前田寛治の芸術—詩情と造形— The Art of Kanji Maeta-The Poetry and Form

会期 1999年7月2日（金）～8月22日（日）45日間

主催 愛知県美術館／中日新聞社／中部日本放送

後援 愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会

観覧料 一般1,000円 高校・大学生 700円

小・中学生 400円（前売り・団体は200円引）

担当 木本文平／藤島美菜／村上博哉

内容 出品点数：油彩画74点、素描27点

フランスに留学して、西洋美術の根底にある写実の精神を学んだ前田寛治は、帝展に出品して評価を得るかたわら、佐伯祐三らと「一九三〇年協会」を結成して若い世代の画家たちに大きな影響を与えた。この展覧会では、前田寛治の画業の初期から晩年に至る油彩画の代表的な作品74点と下絵的要素の強い素描作品27点を、主題別に分類し構成する、今までの前田寛治展では見られない初の試みを行い、「詩」と「造形」の両極を複雑に振幅した前田芸術の本質を、今日的な視点から検証した。

展覧会カタログ A4判変形（30.1×22.6cm）176ページ

テキスト 長谷川三郎「前田寛治—描きつつ深まる人」

カタログ 油彩 第Ⅰ章 人間

[1]子供と家族/[2]労働者

[3]女性 / [4]裸婦

第Ⅱ章 静物

第Ⅲ章 裸婦

素描

テキスト 村上博哉「前田寛治と1920年代前半のフランス美術界」

小泉淳一「前田寛治と『労働』のテーマ」

伸田耕三「前田寛治と一九三〇年協会」

木本文平「前田寛治と帝展」

編集 木本／藤島

制作 美術出版デザインセンター

発行 愛知県美術館／中日新聞社

## 関連事業

講演会 7月10日（土）「前田寛治のレアリスム」

講師：富山秀男（石橋財團ブリヂストン美術館長）

7月24日（土）「父を語る—『病中日記』刊行を機に—」

講師：前田棟一郎（前田寛治子息）

ギャラリー・トーク

7月3日（土）担当：木本

7月17日（土）担当：木本



7月31日（土）担当：木本

8月7日（土）担当：木本

小・中・高の先生方への展示説明会

7月10日（土）

友の会鑑賞会

7月29日（木）担当：木本

総入場者数 14,851人（1日平均：330.0人）

展覧会巡回先	会期（開催日数）	総入場者数	1日平均
茨城県近代美術館	1999年5月15日～6月20日（32日間）	9,522人	297.6人
愛知県美術館	1999年7月2日～8月22日（45日間）	14,851人	330.0人
徳島県立近代美術館	1999年9月11日～10月17日（32日間）	2,196人	68.6人

### 主要掲載記事

#### 【定期刊行物】

池上ちかこ 「前田寛治の芸術展—詩情と造形—」

『美術手帖』6月号Vol.51 No.771

三谷 巍 「前田寛治の芸術展—詩情と造形—によせて」

『Gallery』7月号

#### 【新聞】

太田治子 「真っすぐな目1 《二人の労働者》」

『中日新聞』7月5日付夕刊

富山秀男 「真っすぐな目2 《棟梁の家族》」

『中日新聞』7月6日付夕刊

瀧 悅三 「真っすぐな目3 《風景》」

『中日新聞』7月7日付夕刊

絹谷幸二 「真っすぐな目4 《J・C娘の像》」

『中日新聞』7月8日付夕刊

長谷川三郎 「真っすぐな目5 《裸婦》」

『中日新聞』7月9日付夕刊

(生) 「初期からの全軌跡さらず—前田寛治の芸術展—」

『朝日新聞』7月15日付地方版夕刊

前田棟一郎 「前田寛治の芸術展に寄せて—ある予感—」

『中日新聞』7月28日付夕刊

長谷川三郎 「あくなき写実探求<前田寛治の芸術>」

『日本経済新聞』8月5日付地方版夕刊

(山) 「実在感求めた一徹な情熱<前田寛治の芸術>」

『京都新聞』8月7日付朝刊

木本文平 「前田寛治の芸術（上）留学前」

『中日新聞』8月17日付朝刊

木本文平 「前田寛治の芸術（中）留学期」

『中日新聞』8月18日付朝刊

木本文平 「前田寛治の芸術（下）帰国後」

『中日新聞』8月19日付朝刊



# 危機の時代と絵画 1930-1945

Painting in Crisis: 1930-1945

会期 1999年9月3日（金）～10月17日（日）45日間

主催 愛知県美術館／日本経済新聞社／テレビ愛知

後援 愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会

観覧料 一般1,000円 高校・大学生700円 小・中学生400円

(前売り・団体は200円引)

担当 牧野研一郎／鯨井秀伸

内容 出品点数：油彩画80点、水彩画2点

世界恐慌、ファシズムの台頭から世界大戦へと、世界が不安と恐怖におおわれた危機の時代にあって、精神の深奥で時代の時代の恐怖や不安、悲しみを感じ、それを画面に塗り込めた一群の日本人画家たち（鶴光・麻生三郎・糸園和三郎・井上長三郎・国吉康雄・澤田哲郎・鶴岡政男・寺田政明・難波田龍起・野田英夫・松本俊介・矢橋六郎・山口薰）の作品を通して、時代と絵画表現との関係を検証した。

展覧会カタログ A4判変形（30.1×22.6cm）144ページ

テキスト 牧野研一郎「危機の時代と絵画 1930-1945」

鯨井秀伸「1930-45年の絵画動向ーある視点から」

編集 牧野／鯨井

制作 印象社

発行 愛知県美術館

関連事業

講演会

9月11日（土）「見ることの意志」

講師：市川政憲（東京国立近代美術館次長）

ギャラリー・トーク

9月18日（土）担当：牧野

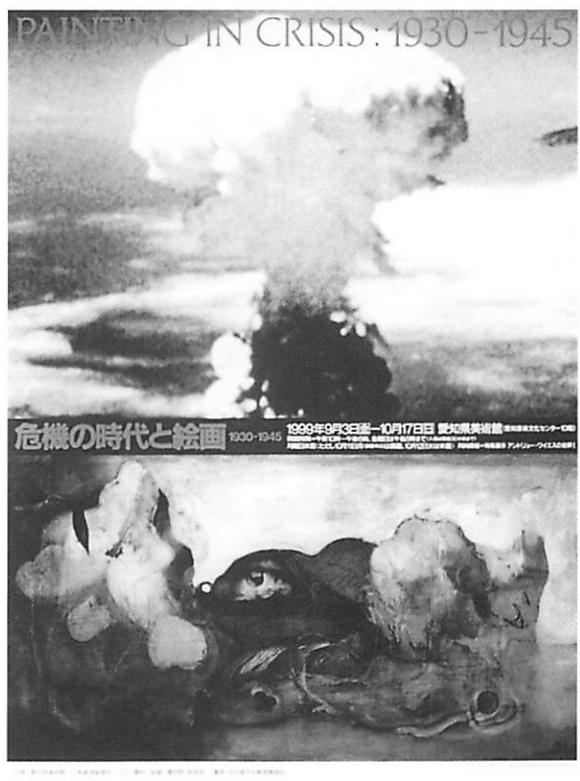
10月2日（土）担当：鯨井

小・中・高の先生方への展示説明会

9月11日（土）担当：牧野

友の会鑑賞会

9月9日（木）担当：牧野



総入場者数 8,379人（1日平均：214.8人）

## 主要関連記事

### 【定期刊行物】

- (編集部) 「危機の時代と絵画展1930-1945」  
『美術の窓』12月号、p.132  
「危機の時代と絵画1930-1945」  
『書のフォーラム』9月号、p.57  
「特集 危機の時代=1930-1945=絵画に託したもの」  
『芸術公論』9月号、pp.4-17
- 青木 茂 「よろず手控帖(七)」  
『近代画説』no.8, pp.108-113
- 牧野研一郎 「危機の時代と絵画」  
『i n g』9月(59号)
- 田中淳 「展覧会評：危機の時代と絵画一九三〇—一九四五」  
『美術フォーラム』3(2000)

### 【新聞】

- 大田垣実 「作家の内面精神と時代背景」  
『京都新聞』9月18日付朝刊
- 生田 誠 「くらしの美 暗い世相にも多彩な表現」  
『産経新聞』9月19日付朝刊
- 田中 淳 「豊かな多様性と沈潜と『戦前期』とらえ直す」  
『中日新聞』10月6日付夕刊
- 田中三蔵 「危機の時代と絵画展／1930年代展今日性持つ不安、不吉な推移」  
『朝日新聞』10月6日付夕刊
- 無署名 「標点 美術の役割を検証 絵画に込めた時代の空気」  
『神戸新聞』10月6日付朝刊
- 無署名 「美術の役割とらえ直す時代の空気絵画に込め」  
『信濃毎日新聞』10月7日付朝刊
- 無署名 「時代と美術の役割検証」  
『岩手日報』10月7日付朝刊
- 無署名 「美術の役割を検証」  
『四国新聞』10月8日付朝刊
- 無署名 「絵画に込めた時代の空気」  
『京都新聞』10月8日付朝刊
- 無署名 「『戦争の世紀』画家は…」  
『中国新聞』10月13日付朝刊
- 無署名 「美術の役割を検証」  
『琉球新報』10月14日付朝刊



# 生誕100年 関根正二展

## Sekine Shoji 1899-1919

会期 1999年10月29日（金）～12月12日（日）39日間  
主催 愛知県美術館／朝日新聞社  
後援 愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会  
観覧料 一般1,000円 高校・大学生700円 小・中学生400円  
(前売り・団体は200円引)  
担当 村田真宏／高橋秀治

内容 出品点数：関根作品96点、周辺の作家たち35点

個性的な画家の多い大正期の美術界にあっても、ひときわ異彩を放つ夭折の天才画家関根正二。この展覧会は、その生誕100年を記念し、現在確認できる彼の作品ほぼ総てと、交友のあった画家や作家の同時代の作品や資料も併せて展示し、関根のつくりあげた絵画世界の本質に迫るとともに、時代のなかに位置づけて紹介した。

展覧会カタログ B5判(26.0×19.0cm) 192ページ  
テキスト 酒井忠康「生誕100年・関根正二展に寄せて」  
伊藤匡「新しい神話—関根正二の人間像」  
カタログ 関根正二／関根正二周辺の画家・作家たち  
テキスト 村田真宏「新たな展開へ—関根正二の1917年」  
橋秀文「関根正二の芸術における雑誌」  
河合哲夫「『鮮烈な朱と清く澄んだ青…』」

編集 神奈川県立近代美術館／福島県立美術館／愛知県美術館／朝日新聞社  
制作 印象社  
発行 神奈川県立近代美術館／福島県立美術館／愛知県美術館

### 関連事業

#### 講演会

11月6日（土）「悲哀の聖地へ—関根正二の世界—」

講師 村田真宏

#### ギャラリー・トーク

11月30日（土）担当：村田

11月13日（土）担当：村田

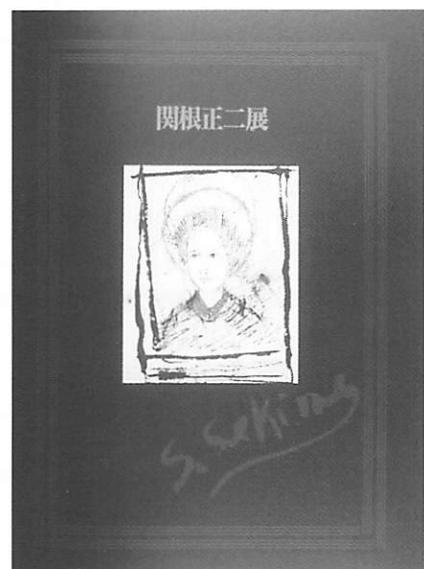
11月27日（土）担当：村田

#### 小・中・高校の先生方への展示説明会

11月6日（土）

#### 友の会鑑賞会

11月25日（木）担当：村田



総入場者数 22,719人（1日平均入場者数：583人）

展覧会巡回先	会期	総入場者数	1日平均
神奈川県立近代美術館	7月10日～8月22日	19,171人	518人
福島県立美術館	9月4日～10月17日	10,055人	279人
愛知県美術館	10月29日～12月12日	22,719人	583人

### 主要関連記事

#### 【新聞】

- 北沢憲昭 「幻視描いた夭折の画家」  
『朝日新聞』7月28日付夕刊
- (前) 「少年像に郷愁と悲しみ」  
『読売新聞』8月11日付夕刊（東京）
- 渋沢和彦 「関根正二展」  
『産経新聞』8月15日付朝刊（東京）
- 無署名 「よみがえる天才画家関根正二」  
『名古屋タイムズ』10月14日付
- 酒井忠康 「幻想の美一瞬の輝き」  
『朝日新聞』10月24日付朝刊
- 無署名 「早世の画家足跡回顧」  
『朝日新聞』10月29日付夕刊
- 無署名 「短命の画家の全作品並ぶ」  
『朝日新聞』11月4日付夕刊
- 長谷川三郎 「対象の内なる光描く」  
『日本経済新聞』11月11日付夕刊
- 村田真宏 「関根正二展一生誕100年－上」  
『朝日新聞』11月26日付朝刊
- 村田真宏 「関根正二展一生誕100年－下」  
『朝日新聞』11月27日付朝刊
- 無署名 「20歳で逝った天才 関根正二の画業さぐる」  
『名古屋タイムズ』11月30日付
- 山中英之 「聖性に満ちた夭折画家の世界」  
『京都新聞』12月4日付



# セザンヌ展

Cézanne and Japan

会期 2000年1月5日（水）～3月12日（日）59日間  
主催 愛知県美術館／中日新聞社／NHK名古屋放送局／  
NHK中部ブレーンズ  
後援 外務省／文化庁／フランス大使館／愛知県・岐阜県・  
三重県・名古屋市各教育委員会  
協賛 富士通株式会社  
協力 日本通運  
特別協力 日本航空  
観覧料 一般1,200円 高校・大学生900円 小・中学生600円  
(前売り・団体は200円引)  
担当 古田浩俊／栗田秀法

内容 出品点数：油彩画54点、水彩画21点、素描9点、  
版画4点 資料9点

日本におけるセザンヌの受容という視点を盛り込みつつ、セザンヌの画業を5つの章に分けて紹介。国内所蔵の作品が約6割を占め、海外からの油彩画20点の内15点は本邦初公開の作品。なお、各章と24点の作品を解説した音声ガイドを初めて導入した（利用率8.68%）。

展覧会カタログ B4判変形（30.5×24.6cm）224ページ

テキスト 陰里鉄郎「日本におけるセザンヌ受容」

カタログ 初期絵画／風景／人物／静物／水浴図

テキスト 栗田秀法「セザンヌと日本美術をめぐって」

中村尚明「伝習の調停者、近世人中の近世人たる  
セザンヌ」

古田浩俊「島崎藤村とセザンヌ」

新畑泰秀「明治・大正期の美術雑誌に見るセザンヌ  
紹介の実相」

編集 横浜美術館／愛知県美術館／NHK／東京新聞

制作 アイメックス・ファインアート

発行 NHK／NHKプロモーション／東京新聞

## 関連事業

### 講演会

1月15日（土）「セザンヌ一人と芸術」

講師 宮崎克己（ブリヂストン美術館学芸  
課長）

2月5日（土）「セザンヌと日本」

講師 永井隆則（京都工芸繊維大学助教授）



小・中・高校の先生方への展示説明会

1月15日（土）

友の会鑑賞会

1月20日（木）担当：古田

総入場者数 171,060人（1日平均入場者数：2,899人）

展覧会巡回先	会期	総入場者数	1日平均
横浜美術館	1999年9月11日～12月19日	405,156人	5,002人
愛知県美術館	2000年1月5日～3月12日	171,060人	2,899人

#### 主要関連記事

##### 【定期刊行物】

「特集：新セザンヌ解剖学」

『美術手帖』777（1999）

永井隆則 「セザンヌ展（展評）」

『美術フォーラム』3（2000）

永草次郎 「セザンヌと日本（展評）」

『美学美術史研究論集（名古屋大学）』17（2001）

##### 【新聞】

長谷川三郎 「セザンヌの芸術」

『中日新聞』2000年1月5日付朝刊

福田美蘭 「絵を紡ぐ視線1 視覚をゼロから追究」

『中日新聞』2000年1月11日付夕刊

横尾忠則 「同2 興味深い初期の作品」

『中日新聞』2000年1月12日付夕刊

笠井誠一 「同3 現実よりも強い実感」

『中日新聞』2000年1月13日付夕刊

辰野登恵子 「同4 “小さな名作”に驚き」

『中日新聞』2000年1月18日付夕刊

日比野克彦 「同5 霊が宿る坂の風景」

『中日新聞』2000年1月19日付夕刊

櫃田伸也 「同6 近代市民のまなざし」

『中日新聞』2000年1月20日付夕刊

長谷川三郎 「全体像把握へ5構成」

『日本経済新聞』2000年1月27日付朝刊

栗田秀法 「セザンヌと日本① 浮世絵・広重の作品と類似点」

『中日新聞』2000年2月1日付朝刊

古田浩俊 「同② 松方コレクション：2点を除き海外へ」

『中日新聞』2000年2月2日付朝刊

古田浩俊 「同③ 画家を通して：安井曾太郎が“仲介”」

『中日新聞』2000年2月3日付朝刊

古田浩俊 「同④ 日本初公開：熊本藩主に購入依頼」

『中日新聞』2000年2月4日付朝刊



- 栗田秀法 「同⑤ 国内所蔵品：素描と完成作比較を」  
『中日新聞』2000年2月5日付朝刊
- 中村英樹 「セザンヌはなぜすごいか」  
『中日新聞』2000年2月2日付夕刊
- 岡本隆明 「色と形の鍊金術師」  
『読売新聞』2000年2月5日付朝刊  
(こどもタイムズ)「『セザンヌ展』を鑑賞」  
『中日新聞』2000年2月12日付夕刊
- 山中英之 「日本の受容史を視野に」  
『京都新聞』2000年2月19日付朝刊
- 生田誠 「静物画の魅力引き出す」  
『産経新聞』2000年2月20日付日曜版
- 井上昇治 「時を忘れて名画に酔う」  
『中日新聞』2000年2月21日付夕刊
- 稻賀繁美 「『革命家』セザンヌ像の形成—誤訳から生まれた後期印象派理解」  
『中日新聞』2000年3月1日付夕刊



## 移動美術館

教育普及活動の一環として、名古屋地域から遠隔にある県内各地に所蔵作品を移動展示し、併せて講演会等の事業を行う移動美術館を年一回開催している。これは当館と財団法人愛知県文化振興事業団および開催市町村との共催によるもので、第1回の南知多町、第2回の足助町、第3回の渥美町、第4回の設楽町、第5回の吉良町に続き、1999年度は新城市で開催した。

新城市および近隣から9,278人の来観者があった。

名称：愛知県美術館 平成11年度 移動美術館

「美術館がやって来た。」

主 催：愛知県美術館、愛知県文化振興事業団、新城市、  
新城市教育委員会

会 期：1999年10月9日(土)～10月24日(日)

会 場：新城文化会館

観覧料：無料

展示内容ならびに展示点数：

明治から現代に至る日本の洋画を中心に、これに海外の作品や彫刻を加え、人物、風景、静物などに分けて38点を展示（絵画33点、彫刻5点）。

<人物>

E.J.・ポインター	世界の若かりし頃	1891
梅原龍三郎	若き羅馬人	1909
宮脇晴	自画像	1920
A.・ボーシャン	フィアンセを訪ねて	1928
佐分真	裸婦	1930
鬼頭鍋三郎	浴後	1938
J.・デュビュッフェ	二人の脱走兵	1953
野見山暁治	人(男)	c.1954
小山田二郎	こわす者	1955
三尾公三	鏡の前	1982

<風景>

久米桂一郎	秋景	1892
大沢鉢一郎	大曾根風景	1919
長原孝太郎	山村	1919
須田国太郎	樹下	1954
林武	ノートルダム	1960
鳥海青児	石の街(ペルー、マチュピツチ)	1961
荻須高徳	サンドニ	1964
杉本健吉	宇治川	1973

美術館がやって来た。



新城文化会館

10月9日㈯～24日㈰

会場：愛知県新城市新城文化会館  
TEL:0562-217620

入場無料



愛知県美術館 平成11年度 移動美術館

<静物>

黒田清輝	花と猫	1906
中村彝	静物	c.1915
小出栄重	蔬菜静物	1925
北川民次	南国の花	1940
矢橋六郎	牡丹	1946
岡鹿之助	窓	1949
三岸節子	魚とインカの壺	1952
上田薰	なま玉子G	1976
笠井誠一	ウクレレと冬瓜とグロリオサのある 卓上静物	1995



<かたちといろ>

村井正誠	Cité B	1940
桂ゆき	人と魚	1954
田淵安一	有機的表象	1955
難波田龍起	萌	1961
J.・アルバース	正方形頌	1962
瑛九	黄色い花	1957-58



<立体>

荻原守衛	女の胴	1907
中原悌二郎	平櫛田中像	1919-21
戸張孤雁	煌く嫉妬	1924
高田博厚	女のトルソ	1937
堀内正和	四角と丸の組み合わせ b	1956

教育普及事業：

- 記念講演会：「美術のたのしみ」(長谷川三郎館長)  
10月9日（土）
- 展示解説：(一般対象) 10月10日（日）  
10月17日（日）  
10月24日（日）  
(団体対象) 会期中新城市内の小・中学校を  
中心に実施

# 作品の収集と保存管理

## 作品の収集

### 1 収集方針

- ・20世紀の優れた国内外の作品及び20世紀の美術動向を理解する上で役立つ作品
- ・現在を刻印するにふさわしい作品
- ・愛知県としての位置を踏まえた特色あるコレクションを形成する作品
- ・上述の作品・作家を理解する上で役立つ資料

### 2 収集委員会の開催

1999年度は収集委員会を1回開催し、1点の作品を購入し、10点の作品の寄贈を受けた。

### 3 収集の状況

2000年3月末日までの収集の状況（点数）は次のとおり。

美術品等収集状況

	98年度までの収集				99年度			総計		
	愛知県文化会館美術館	新美術館準備	開館後	計	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計
〈国内〉										
日本画(JJ)	149	45	16	210	0	0	0	136	74	210
洋画(JO)	378	59	36	473	0	4	4	389	88	477
水彩・素描(JO)	309	134	13	456	0	0	0	377	79	456
立体(JS)	23	38	15	76	0	5	5	72	9	81
版画(JP)	101	207	47	355	1	0	1	319	37	356
資料(JM)	4	1	3	8	0	1	1	0	9	9
工芸その他	70	0	0	70	0	0	0	39	31	70
小計	1034	484	130	1648	1	10	11	1332	327	1659
〈海外〉										
絵画(FO)	15	24	10	49	0	0	0	45	4	49
水彩・素描(FD)	0	4	4	8	0	0	0	8	0	8
立体(FS)	6	13	8	27	0	0	0	25	2	27
版画(FP)	1	65	8	74	0	0	0	73	1	74
インスタレーション(FI)	0	0	2	2	0	0	0	2	0	2
資料(FM)	0	1	1	2	0	0	0	1	1	2
小計	22	107	33	162	0	0	0	154	8	2162
合計	1056	591	163	1810	1	10	11	1486		1821
藤井達吉コレクション	1460	—	—	—					1460	1460
総計	2516	591	163	3270						3281

※表の注記

愛知県文化会館美術館の収集は1987年度まで行われた。新美術館準備のための収集は、愛知県新文化会館建設事務局及び文化振興局において、1987年4月から1992年10月30日の開館まで行われた。開館後の収集とは1993年度以降のものを指す。なお、藤井達吉コレクションとは、愛知県文化会館美術館の開館時（1955年）に藤井達吉氏より寄贈された同氏の作品及び同氏が収集した絵画・工芸などの資料を指す。

# 1999年度新収蔵作品

## [凡例]

・各作品は、JJ(日本画)、JO(洋画)、JP(日本の版画)、JD(日本の水彩・素描)、FO(海外の絵画)、FS(海外の立体)、FP(海外の版画)、FI(海外のインスタレーション)、FM(海外の資料)に分けられたうえで、作家姓の五十音順(日本の作品)ないしはアルファベット順(海外の作品)に配列され、同一作家による複数の作品については、制作年、次いで作品名の五十音ないしはアルファベットの順もしくはカタログ・レゾネの番号順に配されている。

・各作品に係る取扱事項は以下の通り:

作家名 生歿年

作品名  
制作年 技法・材質 尺寸 (タテ×ヨコ (×奥行き))

署名、年記

版画の摺番号、もしくは立体の鋳造番号

初出の展覧会

収蔵種別 (購入、寄贈等) 所蔵番号

## 国内作家

### 〈洋画〉

藤島獎 1915—

FUJISHIMA, Sho

静物

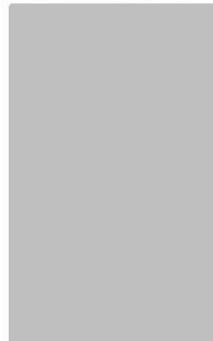
Still-life

1969年 油彩、画布

163.5×98.6cm

第一回改組日展 (1969)

寄贈 99-JO-001



山田光春 1912—1981

YAMADA, Koshun

蠢

Wriggle

1937年 油彩、ガラス

35×34cm

第一回自由美術家協会展 (1937)

寄贈 99-JO-004



### 〈立体〉

藤島獎 1915—

FUJISHIMA, Sho

赤い帽子

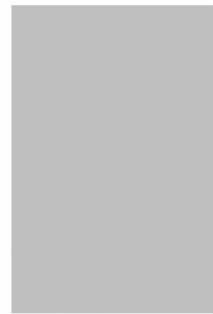
Red Hat

1982年 油彩、画布

193×133cm

第14回日展 (1982)

寄贈 99-JO-002



庄司達 1939—

SHOJI, Satoru

黄色い布による空間

(糸の柱) '98

Space by Yellow Cloth (Pillar of String) '98

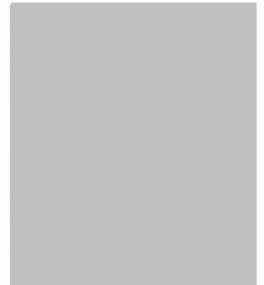
1998年 布糸、ネット

450×450×450cm

久野真・庄司達展

(愛知県美術館、1998年)

寄贈 99-JS-001



山田光春 1912—1981

YAMADA, Koshun

門

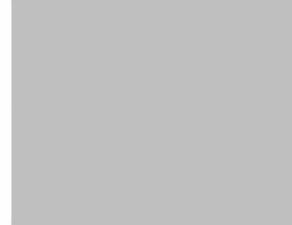
Gate

1936年 油彩、ガラス

35×45cm

第一回自由美術家協会展 (1937)

寄贈 99-JO-003



久野真 1921—1998

KUNO, Shin

石膏による作品 P.Lx6-U

Plaster Work:P.L3x6-U

1957年 石膏、布、顔料、板

182.5×92.5cm

第21回新制作展 (1957年)

寄贈 99-JS-002



久野真 1921—1998

KUNO,Shin

鉛による作品 No.2-62

Lead Work:No.2-62

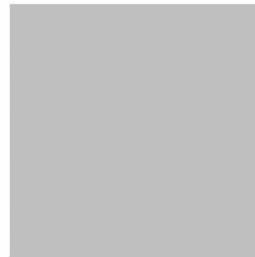
1962年 鉛、板

91×91cm

個展 (Macrobert and Tunnard Gallery,

London、1963年)

寄贈 99-JS-003



### 〈版画〉

長谷川潔 1891—1980

KIYOSHI,Hasegawa

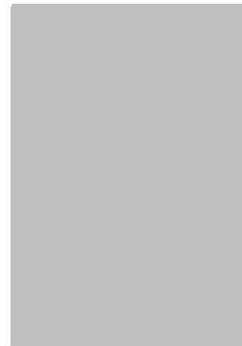
『竹取物語』(本野盛一著／長谷川潔挿画)

The Tale of the Bamboo Cutter

1934年 エングレーヴィング、水彩

31.3×24.3×5.2cm

購入 99-JP-001



久野真 1921—1998

KUNO,Shin

Relief Painting (2)

Relief Painting (2)

1997年 ステンレス、鉛、板

各140×100cm

久野真・庄司達展 (愛知県美術館、

1998年)

寄贈 99-JS-004



### 〈資料〉

#### 瑛九関連資料

瑛九手稿／瑛九作品目録／瑛九関連写真・記事資料／藤井達吉資料／

美術団体展覧会等資料／山田光春作品資料

寄贈 99-JM-001



伊藤福紫 1952—

ITO,Fukushi

空間と時間の中に 1805

In the Time and In the Space

1998年 雲肌麻紙にコンピュータドロー  
イング、ネオン、アクリル

208×227×8cm

個展 (愛知県美術館、1998年)

寄贈 99-JS-005



## 保存・修復

作品環境を調査し、その維持管理の方法について毎年度重点項目を設け計画的に整備を進めている。昨年度は虫菌害対策と輸送・保存用木箱の2点を重点とした。このうち虫菌害対策については、1997年から3年を要したが、ほぼ当館の実状に促した対策プログラムが確定したと考える。輸送・保存用木箱に関しては昨年度から取り組み始めたが、ほぼ5年を目処に考えている。先に開始している所蔵作品の保存状態の調査も継続している。

### 1999年度の活動概要

#### ア 所蔵作品の状態調査

- ・状態調査作品 33点
- ・状態調査委託作品 1点

#### イ 所蔵作品の保存処置等

- ・保存処置作品 7点（うち委託 1点）
- ・新規額及び保存箱・付属品の製作 6組（37点の作品用）

#### ウ 保存環境の整備

- ・（特記）IPMプログラム（虫菌害対策）の確定
- ・（特記）企画展示室の室内汚染調査
- ・（特記）空気調和設備について、運転時間の削減についてを検討、及び試験。

#### エ 借用作品の点検とその維持管理

### 状態調査委託作品一覧

No.	作家名	作品名	制作年	技法材料	調査目的	調査者
1	パウル・クレー	女の館	1921	油彩、厚紙	修復計画	森 京子

### 保存処置作品一覧

No.	作家名	作品名(技法材料)	種別	修復前の状態	修復内容	処置者
1	藤島獎	サークス (グアッシュ、紙)	水彩素描	不適切な額装	ヒンジ留め・再額装	長屋 (館内処置)
2	今井瑾郎	大地 (鉄に塗装)	立体	来館者による落書き (鋭利なものによる引掛けによって作図)	溶剤の含浸 (摩込みによる印象の軽減)	長屋 (館内処置)
3	アンドリュー・ワイエス	大地 (水彩、紙)	水彩素描	不適切な額装	再額装	長屋 (館内処置)
4	アンドリュー・ワイエス	テナント・ハーバーとマーティーピル (水彩、紙)	水彩素描	不適切な額装	再額装	長屋 (館内処置)
5	久野真	石膏による作品 P.L13x6-V (木、石膏、布)	洋画	額縁の剥落	P.V.Acによる剥落留め	長屋 (館内処置)
6	藤島獎	静物 (油彩、画布)	洋画	表面の黴の発生	乾式洗浄・局部的に湿式洗浄	長屋 (館内処置)
7	藤島獎	赤い帽子 (油彩、画布)	洋画	表面の黴の発生	乾式洗浄・局部的に湿式洗浄	長屋 (館内処置)

## 新規額・保存箱製作作品一覧

No.	作家名	作品名	制作年	技法材料	理由、製作物
1	オノサト・トシノブ	三つの黒	1958	油彩、画布	貸出用仮額、木箱
2	上田 薫	なま玉子G	1976	油彩、画布	貸出用仮額
2	上田 薫	なま玉子G	1976	油彩、画布	F150用汎用木箱 ・運送用
3	福沢 一郎	「地獄シリーズ」 全28点	1972・3	油彩、画布 (RPシステム用ケース)	・虫害時の対応用を兼ねる
4	宇佐美圭司	長い歩み	1964	油彩、画布	・緊急時の収納用保存箱を兼ねる
5	中西 夏之	M字型-I	1981	油彩、画布	
5	中西 夏之	紫むらさきXIX	1983	油彩、画布	F150用汎用木箱 ・運送用
6	堀 浩哉	風の音へ-84・2	1984	油彩、画布 (RPシステム用ケース)	・虫害時の対応用を兼ねる
6	堀 浩哉	水の肌へ-84・2	1984	油彩、画布	・緊急時の収納用保存箱を兼ねる
7	佐々木四郎	閉ざされた空間	1979	油彩、画布	

## 所蔵作品の貸出

### 1999年度の貸出状況

国内外の美術館等からの所蔵作品の貸出要請に対して、展覧会の内容とその意義、当該作品の保存状態、所蔵作品展の展示計画などを十分に考慮し、愛知県美術館所蔵作品貸出要領に則って作品の貸出を行った。

### 貸出の概要

分野	点数
日本画	23点
洋画	29点
素描水彩	4点
版画	1点
絵画	5点
立體	1点
計(37件分)	63点

### 貸出作品一覧

No.	作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
1	国領経郎	風	国領経郎展	1999.4.1-6.16	横浜美術館
2	中村彝	少女裸像	東アジア・絵画の近代—油画の誕生とその展開	1999.4.1-7.21	静岡県立美術館 兵庫県立近代美術館
	満谷国四郎	裸婦		1999.4.1-12.24	静岡県立美術館 兵庫県立近代美術館 徳島県立近代美術館 宇都宮美術館 福岡アジア美術館
	安井曾太郎	承德喇嘛廟		1999.9.3-12.24	宇都宮美術館 福岡アジア美術館
3	安田鞍彦 川崎小虎 前田青邨 前田青邨 川崎千虎 川崎千虎 森村宣福 石川英鳳	月の兎 四季草花野菜絵巻 江島詣 稚兒文殊 能楽 頼朝朽木隠れ 四季草花図 猿候の図	日本画の美 大正～昭和初期のやまと絵	1999.4.8-6.10	高浜市やきものの里かわら美術館
4	梅原龍三郎	若き羅馬人	井原線開業記念「梅原龍三郎・安井曾太郎」	1999.4.9-6.4	井原市田中美術館
5	島田鮎子	卓上にて	色彩と形態のリリズム 島田鮎子展	1999.4.15-5.24	刈谷市美術館
6	平山郁夫	楼蘭の遺跡(昼)	平山郁夫展	1999.4.15-5.15	三越(日本橋)

No.作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
7 藤島獎	サークス	藤島獎回顧展	1999.4.26-5.6	電気文化会館
8 前田寛治 前田寛治	褐衣婦人像 母の像	前田寛治の芸術	1999.5.11-10.19	茨城県近代美術館 愛知県美術館 徳島県立近代美術館
今野忠一	妙義	(借用先代替作品)	1999.6.27-8.31	タイ大使館
9 高橋由一	厨房具	市制50周年特別企画展「白河を駆け抜けた作家たち」	1999.5.11-6.23	白河市歴史民俗資料館
10 ラインハルト・セビエ ラインハルト・セビエ	思想家 病室から	心のレクイエム—ラインハルト・セビエ	1999.6.2-11.8	小田急美術館 下関市立美術館 刈谷市美術館
11 河野通勢 安井曾太郎 村山槐多 伊東深水 小出栄重	自画像 婦人像 信州風景 大島の黎明 N婦人像	関根正二展 (借用先代替作品)	1999.6.30-12.13 1999.8.7-12.19	神奈川県立近代美術館 福島県立近代美術館 愛知県美術館 大原美術館
12 東山魁夷	雪の山郷	東山魁夷展	1999.7.13-10.29	岡山県立美術館 茨城県近代美術館
13 宮本三郎	家族	没後25年宮本三郎展	1999.7.29-11.9	東京都庭園美術館 石川県立美術館 松坂屋美術館(名古屋) 高島屋(大阪)
14 オノサト・トシノブ	三つの黒	日本美術の近代性	1999.8.1-2000.4.1	ケムニッツ市立美術館 (ケムニッツ、ドイツ) シルンクンストハレ (フランクフルト、ドイツ)
15 A.アーチベンコ A.モディリアーニ	歩く女 カリアティード	エコール・ド・パリとその時代	1999.8.5-12.2 1999.9.28-12.2	笠間日動美術館 名古屋市美術館 名古屋市美術館
16 斎藤義重 斎藤義重	作品 ゼロリスト	斎藤義重展	1999.8.30-10.20	神奈川県立近代美術館

No.作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
17 小茂田青樹 香月泰男	漁村早春 散歩	開館記念展Ⅲ 島根の美術	1999.9.4-10.6	島根県立美術館
18 竹内浩一	風	夢見る獣たち—動物のいる風景	1999.9.6-12.4	古川美術館
19 竹内浩一 竹内浩一	雨まじか 風	竹内浩一展	1999.4.1-4.27	大丸ミュージアム（京都）
20 安井曾太郎 安井曾太郎	人物立像(no.415) 人物立像(no.423)	京都洋画のあけぼの	1999.9.18-11.5	京都文化博物館
21 中山巍 中山巍 中山巍 中山巍	街角 青背座婦 スープを飲む老人 ガラス器のある静物	中山巍展	1999.9.20-10.17	岡山県立美術館
22 平山郁夫	楼蘭の遺跡（昼）	平山郁夫 名作誕生の秘密	1999.9.20-11.23	平山郁夫美術館
23 小磯良平 小磯良平	婦人像 室内A	小磯良平展	1999.9.21-11.11	鹿児島市立美術館
24 野田哲也	日記1987年5月3日柏台2-12-4	アート・スウィート・ホーム	1999.9.26-11.25	広島市現代美術館
25 須田国太郎	夏	日本の歳時 春・夏	1999.9.28-11.10	式年遷官記念神宮美術館
26 村上華岳 村上華岳	魔障之図 散華	村上華岳展	1999.10.15-12.9	豊田市美術館
27 浅井忠	八王子付近の街	子規と写生	1999.10.21-12.3	愛媛県美術館
28 川口軌外	二婦	川口軌外展	1999.10.22-12.25	和歌山県立近代美術館
29 大沢昌助	赤い幻想	中村彝賞記念 大沢昌助・奈良岡正夫展	1999.12.2-2000.2.3	茨城県近代美術館
30 高橋由一	厨房具	幕末・明治の横浜	1999.12.23-2000.4.5	横浜美術館
31 川合玉堂	湖畔晩帰	川合玉堂展	2000.1.20-3.8	高島屋(日本橋) 高島屋(なんば)
32 池田遙邨	稻掛け	池田遙邨回顧展	2000.2.3-5.9	名古屋市美術館 倉敷市立美術館

No.作家名	作品名	展覧会名	貸出期間	会場
33 郷倉和子	氣	郷倉和子展	2000.2.8-3.1	高島屋大阪店 高島屋京都店
34 E.L.キルヒナー	グラスのある静物	キルヒナー展	2000.2.29-7.7	ルガーノ近代美術館
35 パウル・クレー	女の館	パウハウス展—ガラスのユートピア	2000.3.11-5.25	宇都宮美術館
36 麻田鷹司	鬼界ヶ島	麻田鷹司展	2000.3.27-6.21	京都国立近代美術館 茨城県近代美術館
37 菅井汲	ナショナル・ルートNo.11 菅井汲展		2000.3.31-8.31	兵庫県立近代美術館 東京都現代美術館

# 教育普及

## 1. 出版・発行

### 1999年度の発行物

- |                                    |              |
|------------------------------------|--------------|
| ・企画展カタログ                           | 5 企画展ごと各種    |
| ・企画展鑑賞の手引き                         | A3判2色6頁片観音折  |
| 『ファウスト・メロッティ展』（各章解説、略年譜、主題解説）      | A4判4頁        |
| 『前田寛治の芸術』（全体と各章の説明、作品14点の解説）       | A3判変形4色8頁経本折 |
| 『危機の時代と絵画1930-1945』（章解説と8点の図版）     | A4判4頁        |
| 『生誕100年 関根正二展』（各章と作品12点、関連作家9人の解説） | A4判4頁        |
| 『セザンヌ展』（各章からの4作品を設問形式で解説）          | B5版4-6ページ    |
| ・所蔵作品展 作品リスト・各展示室の解説               | A5判28頁       |
| ・所蔵作品展 特集展示「長谷川潔の銅版画」セカンドガイド       | A4判変型4色50頁   |
| ・小企画展（テーマ展）『伊藤福紫展—空間と時間の中に—』       | B4の1/3判2頁    |
| ・『1999年度 新収蔵作品目録』                  | B5版56°-2°    |
| ・『愛知県美術館研究紀要』第6号                   | A4版64ページ     |
| ・『愛知県美術館年報』7 1998年度版               | 各A4版変形三つ折り   |
| ・2000年度 展覧会スケジュール（日本語版・英語版）        |              |

## 2. 講演会・講座・シンポジウム等

### 1999年度企画展関連の講演会

#### ファウスト・メロッティ展：

「20世紀イタリア美術における日本の影響—モディリアーニからメロッティまで」 ヴァンニ・シャイヴィラー（評論家）	4月24日（土） 65人
「ファンターナとメロッティ」 押戸雅彦（愛知県美術館 学芸員）	5月15日（土） 67人

#### 前田寛治の芸術展：

「前田寛治のレアリズム」 富山秀男（ブリヂストン美術館 館長）	7月17日（土） 110人
「父を語る—『病中日記』刊行を機に—」 前田棟一郎（前田寛治子息）	7月24日（土） 114人

#### 危機の時代と絵画 1930-1945：

「見ることの意志」 市川政憲（東京国立近代美術館 次長）	9月11日（土） 68人
---------------------------------	-----------------

#### 生誕100年 関根正二展：

「悲哀の聖地へ 一関根正二の世界ー」 村田真宏（愛知県美術館 主任学芸員）	11月6日（土） 108人
--	------------------

#### セザンヌ展：

「セザンヌ一人と芸術ー」 宮崎克己（ブリヂストン美術館 学芸課長）	1月15日（土） 250人
「セザンヌと日本」 永井隆則（京都工芸繊維大学 助教授）	2月5日（土） 185人

### 1999年度連続講座「魅惑のセザンヌ」

タイトル	講 師	開催日	参加人数
セザンヌと日本美術	栗田秀法	11月20日	140人
日本におけるセザンヌ受容	古田浩俊	11月21日	120人
セザンヌへのアプローチ	中山公男 (群馬県立近代美術館長)	12月4日	197人
セザンヌと私	島田章三（画家）	12月5日	167人

※「セザンヌへのアプローチ」は愛知県美術館友の会主催により開催した。

### 3. ギャラリートーク

展覧会	開催日	参加者数
ファウスト・メロッティ展	5月8日	25人
	5月22日	20人
	5月29日	20人
前田寛治の芸術展	7月3日	14人
	7月17日	25人
	7月31日	28人
	8月7日	20人
危機の時代と絵画1930-1945	9月18日	10人
	10月2日	8人
生誕100年 関根正二展	10月30日	25人
	11月13日	23人
	11月27日	33人

\*ギャラリートークの聴講者数は概数（聴講券発行は毎回15枚）

なお、「セザンヌ展」では音声ガイド（有料）を設置したことと会場混雑のため、ギャラリートークは実施しなかった。

### 4 各種鑑賞プログラム

#### (1) 学校教師を対象とした企画展説明会

学校教育と美術館教育の連携を図り、学校の授業や見学会などで役立てもらうことを意図して、小・中・高校の先生（美術担当に限らない）を対象とした企画展の説明会を行っている。

展覧会	開催日	参加者数
ファウスト・メロッティ展	4月24日	18人
前田寛治の芸術展	7月10日	25人
危機の時代と絵画1930-1945	9月11日	13人
生誕100年 関根正二展	11月6日	25人
セザンヌ展	1月15日	117人

#### (2) 子供を対象とした鑑賞教育

所蔵作品展観覧の小・中・高校生にワークシートを配布するとともに、所蔵作品展において夏休みに小学生を対象とした子供鑑賞会を行った。

開催日	対象	参加者数
7月29日	小1～小3	37人
	小4～小6	26人
8月5日	小1～小3	20人
	小4～小6	37人

\*約10人ずつに分かれ設問プリントやワークシートを用いて鑑賞、その後アートスペースに集合し、作家アトリエ等のスライドで補足説明などを行った。

#### (3) 教育的性格を重視した特集展示の開催

「長谷川潔の銅版画」：所蔵作品展第Ⅰ期後期（7月2日～8月22日）

作品に併せて、銅版画制作のための材料や道具を説明文付きで展示。また、小冊子を発行するとともに、来館者からの質問投書を受け付けた。さらに、担当学芸員立ち会いのもとで銅板にピュランで線を刻む体験コーナーを設けた。

#### (4) 「視覚に障害のある方へのプログラム」の開催

所蔵作品展の中から戦後の日本画を対象に開催。加山又造《黒い鳥》、小松均《富士山》、田渕俊夫《すぎばやし》、東山魁夷《雪の山郷》、平山郁夫《楼蘭の遺跡・昼》、山本丘人《幻雪》の6点に大きな文字と点字の解説および立体コピーを作成した。（協力：名古屋YWCA 美術ガイドボランティアグループ）

開催日	参加者	午前、午後の内訳
3月16日	27人	午前：9人 午後：18人
3月23日	15人	午前：11人 午後：4人

### 5 ビデオテークでの映像機器を利用した鑑賞教育の実施

1999年度に行なったシステムの改良を活用し、企画展と所蔵作品展の展示替えごとに案内映像を作成し来館者に映示提供した。

### 6 博物館実習生の受け入れ

学芸員資格習得のための博物館実習について、1999年度は14名の実習生を受け入れ指導した。

実習実施期間

1999年7月26日(月)～30日(金) 5日間

実習内容

総論、美術館の概説と施設見学、開館・閉館業務立ち会い、作品貸出立ち会い

課題（企画展案・鑑賞ワークシートやガイド・教育普及事業案のうち一つを作成）

収集と所蔵作品展について、企画展の進行について、美術館教育について、夏休み子供鑑賞会見学、美術品の保存について作品の取り扱い、作品の状態調査、屋外彫刻のメンテナンス

## 実習生

氏名	大学、専攻等
伊藤 愛	東海女子大学文学部美学美術史学科
伊東 清夏	立命館大学文学部人文総合科学インスティテュート
伊藤 朋子	名古屋芸術大学美術学部絵画科洋画コース
今泉 弘美	中京女子大学人文学部アジア文化学科
太田美喜子	立教大学学芸員課程履修生、国立西洋美術館非常勤
加藤 志織	多摩美術大学美術学部芸術学科
加藤まゆみ	東海女子大学文学部美学美術史学科
小林ひかり	愛知県立芸術大学音楽学部音楽科作曲専攻(音楽学)
菅野 智子	名古屋芸術大学美術学部絵画科洋画コース
関本 淑乃	愛知県立芸術大学音楽学部音楽科作曲専攻(音楽学)
田中 香里	明星大学日本文化学部生活芸術学科グラフィック専攻
田中 元偉	愛知県立芸術大学美術学部油絵科
山内佐和子	名古屋芸術大学美術学部絵画科日本画コース
山口紗登美	名古屋芸術大学美術学部絵画科洋画コース

## 7. 友の会の運営協力

愛知県美術館友の会

会員数：

年 度	総 数	一般 会 員	特別会員		総数の男女別内訳		
			内学生	個人	男性	女性	団体
1994年度	250	224	区分ナシ	24	2	113	135
1995年度	350	322	48	27	1	163	186
1996年度	381	353	73	27	1	173	207
1997年度	446	416	99	25	2	200	244
1998年度	420	394	77	24	2	184	234
1999年度	381	355	57	25	1	174	206

1999年度事業概要：

・企画展鑑賞会

展覧会	開催日	参加者数
ファウスト・メロッティ展	5月13日	43人
前田寛治の芸術展	7月29日	90人
危機の時代と絵画1930-1945	9月9日	68人
生誕100年 関根正二展	11月25日	80人
セザンヌ展	1月20日	71人

※各回とも午後5時からアートスペースAにて担当学芸員によりスライドを用いた説明会、午後6時の閉館後展示室で鑑賞。9月9日は鑑賞会に引き続いて懇親会を実施。

・広報事業

会報『空中回廊』第9号(1999年12月)、第10号(2000年2月)の発行  
企画展ポスター、ちらし等の宣伝材料の配布

・その他の事業

企画展及び所蔵作品展の無料観覧の実施

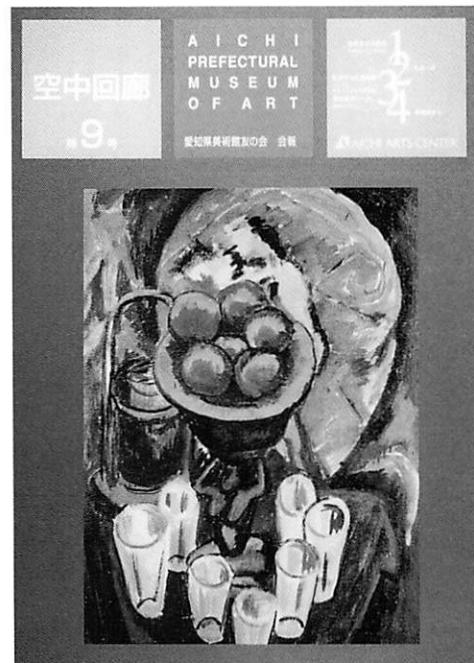
企画展関連商品の割引販売の実施

愛知県美術館が開催する講演会の聴講特別枠の設定

愛知県美術館が開催する講演会の経費協力(定期講演会の1回)

企画展の開会式及び内覧会の参加(但し、特別会員に限る)

芸術文化センター内のレストラン、喫茶における利用割引の実施



# 調査研究

## 1999年度の調査研究実績

当館および他の美術館や博物館の活動に関するもの、公的な助成による研究、学術雑誌や学会での発表に限定して記載し、一般の新聞・雑誌・画集・画廊カタログ等への寄稿（評論・解説・批評等）、および大学や市民講座・テレビ・ラジオ等での講義・講演等は除いている。

### ア 所蔵作品等に関すること

- ・鯨井秀伸 「エドワード・ジョン・ポインター《世界の若かりし頃》」  
『愛知県美術館研究紀要』第6号（2000年3月）

### イ 企画展に関すること

- ・坪戸雅彦 「メロッティの多様さとその意味（形而上学と対位法）」  
『ファウスト・メロッティ展』（1999年4月）
- ・高橋秀治 「伊藤福紫のあゆみ」  
『テーマ展 伊藤福紫—空間と時間の中に—』  
(1999年4月)
- ・長谷川三郎 「前田寛治—描きつつ深まる人ー」  
『前田寛治の芸術』（1999年5月）
- ・木本文平 「前田寛治と帝展」「章解説」「作品解説」同上
- ・村上博哉 「前田寛治と1920年代前半のフランス美術界」同上
- ・藤島美菜 「前田寛治年譜」「前田寛治主要文献目録」「作品解説」同上
- ・牧野研一郎 「危機の時代と絵画1930—1945」「章解説」「作家解説」「関連年表」  
『危機の時代と絵画1930—1945』（1999年9月）
- ・鯨井秀伸 「1930—45年の絵画動向—ある視点から」「章解説」「作家解説」「関連文献目録」同上
- ・村田真宏 「新たな展開へ—関根正二の1917年ー」「作品解説」「作家解説」  
『関根正二展』（1999年7月）
- ・栗田秀法 「セザンヌと日本美術をめぐって」「章解説」「作品解説」  
『セザンヌ展』（1999年9月）
- ・古田浩俊 「島崎藤村とセザンヌ—日本におけるセザンヌ受容の一断面」「章解説」「作品解説」同上

### ウ 作品の保存に関すること

- ・長屋菜津子 「愛知県美術館の虫菌害対策（愛知県美術館の保存対策その1部分改訂）」  
『愛知県美術館研究紀要』第6号（2000年3月）所収

・長屋菜津子 「愛知県美術館における虫菌害対策」（東京国立文化財研究所主催：特別研究「無公害な文化財生物劣化防除法の研究」平成11年度第1回研究会、および同主催：「第23回文化財の保存および修復に関する国際研究集会」にて発表）

### エ アート・ドキュメンテーションに関すること

- ・鯨井秀伸 「美術作家名ファイル研究」継続中（H. P. 上に掲載）

### オ その他

- ・村田真宏 「ニューヨーク、アート・ステューデンツ・リーグに学んだ日本人美術家たち」（共同研究代表）  
『鹿島美術研究』年報第16号別冊（1999年9月）
- ・寺門臨太郎 「未公刊資料一仲田定之助のベルリン日記(下)」「現代芸術研究」  
(筑波大学芸術学系五十鈴研究室) 第3号  
(1999年12月)
- ・深山孝彰 「富岡鉄斎筆 富而不驕図」「国華」第1250号 特輯富岡鉄斎（1999年12月）
- ・栗田秀法 「王立絵画彫刻アカデミー その制度と歴史」「西洋美術研究」2号 特集：美術アカデミー（1999年9月）
- ・村上博哉 「シュルレアリスムと画中画 マックス・エルンストを中心に」  
『西洋美術研究』3号 特集：イメージの中のイメージ（2000年3月）
- ・雪山行二 「ゴヤ、“セアーン・ベルムーデス・アルバム”の再検討」（共著）  
『国立西洋美術館研究紀要』4号（2000年3月）
- ・長谷川三郎／深山孝彰／栗田秀法  
「ロダンの芸術におけるジャボニスムーロダンの日本美術コレクションの総合研究」（静岡県立美術館・名古屋市美術館学芸員との共同研究、ボーラ美術財団の助成による）

# ギャラリー(貸館)

「愛知県美術館ギャラリー展示室等利用受付許可要領」にもとづき、8階の展示室A～J（全10室）を各種公募展・団体展等の利用に供している。1998年の利用申込みは186件あり、利用調整の結果173件の展覧会が開催され、60万8千人余の入場者があった。なお、1992年の開館以来利用率は100%である。

## 1999（平成11）年美術館ギャラリー利用状況

### 1 展示室利用状況

(単位：日数)

区分 月別	利用可能日数 a	利用可能 b	利 用 率 b/a	展示室別利用日数										審査保管室		
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	第1	第2	
11年1月	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	14	11	
2月	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	0	1	
3月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	12	8	
4月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	12	8	
5月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	18	6	
6月	22	22	100.0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	17	8	0
7月	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	2	7	
8月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	17	2	
9月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	4	20	
10月	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	8	15	
11月	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	8	10	
12月	23	23	100.0	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	0	12	
計	302	302	100.0											103	100	

### 2 展覧会種別利用状況及び入場者数

区分 月別	展示会種別利用件数(件)								入場者数 (人)
	総合展	絵画展	彫刻展	工芸展	書道展	デザイン展	写真展	計	
11年1月	3	4	0	1	4	0	0	12	158,478
2月	1	0	0	0	1	1	0	3	10,168
3月	3	8	0	1	5	2	1	20	42,381
4月	3	6	0	1	3	0	0	13	42,763
5月	6	8	1	0	2	0	0	17	40,426
6月	5	4	2	0	4	0	0	15	31,433
7月	6	8	0	2	3	0	3	22	45,927
8月	5	4	0	0	6	0	1	16	49,419
9月	5	5	0	0	3	1	1	15	48,859
10月	7	4	0	0	2	1	0	14	30,282
11月	5	6	0	3	3	0	0	17	44,940
12月	5	5	0	0	3	0	0	13	22,177
計	54	62	3	8	39	5	6	177	567,253

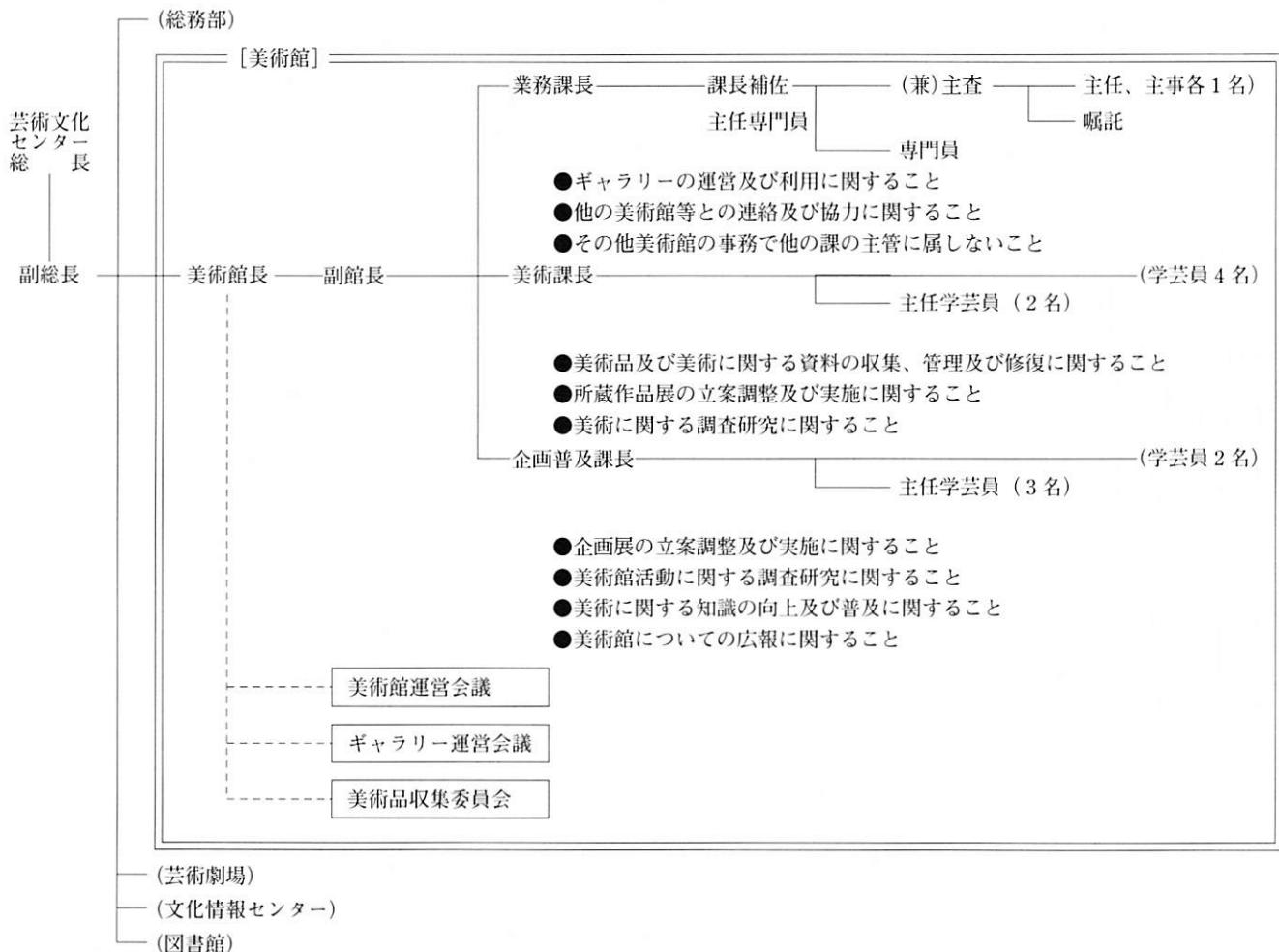
(注) 利用件数及び入場者数は、展覧会会期の初日に属する月で整理した。

### 3 1999年ギャラリー展示室利用団体一覧



# 組織および職員構成

## 1. 組織図



## 2. 愛知県美術館職員名簿 (2000年3月)

館 長	長谷川三郎
副館長	雪山 行二
業務課長	加藤 隆昭
課長補佐	伊藤 岬
主任専門員兼主査	広瀬 光生
専門員	奥村 治
〃	都竹 浩志
主 任	高木 伸彦
主 事	山下恵美子
嘱 託	木全 康子
美術課長	牧野研一郎
主任学芸員	高橋 秀治
〃	古田 浩俊
学芸員	押戸 雅彦
〃	長屋菜津子
〃	鯨井 秀伸
〃	藤島 美菜
企画普及課長	木本 文平
主任学芸員	村田 真宏
主任学芸員	村上 博哉
主任学芸員	深山 孝彰
学芸員	栗田 秀法
〃	寺門臨太郎

## 関係委員会名簿(2000年3月、50音順)

### 愛知県美術館運営会議委員名簿

秋田 紘雄 愛知県文化振興事業団事務局長  
浅野 徹 名古屋芸術大学教授、名古屋ボストン美術館長  
遠藤 恒雄 東海女子大学教授  
岡部あおみ 武蔵野美術大学教授  
陰里 鐵郎 横浜美術館長  
笠井 誠一 愛知県立芸術大学名誉教授、洋画家（立軌会会員）  
蟹 吉光 愛知県総務部文化振興局長  
小林 龍郎 名古屋市美術館長  
酒井 哲朗 三重県立美術館長  
中村 英樹 名古屋造形芸術大学教授  
馬渕 明子 日本女子大学教授  
三浦 定俊 東京国立文化財研究所保存科学部長  
宮澤 明倫 名古屋市博物館長事務取扱  
村田慶之輔 川崎市岡本太郎美術館長

### ギャラリー運営会議委員名簿

秋田 紘雄 愛知県文化振興事業団事務局長  
石黒 鑑二 彫刻家、行動美術協会会員  
笠井 誠一 洋画家、立軌会会員  
加藤 清之 陶芸家  
蟹 吉光 愛知県総務部文化振興局長  
島田 章三 洋画家、国画会会員  
樽本 樹邨 書家、日展会会員  
中村 英樹 名古屋造形芸術大学教授  
松井 和弘 日本画家、創画会会員  
宮澤 明倫 名古屋市博物館長事務取扱  
山脇 一夫 名古屋市美術館学芸課長

### 美術品収集委員会委員名簿

浅野 徹 名古屋芸術大学教授、名古屋ボストン美術館長  
内山 武夫 京都国立近代美術館長  
陰里 鐵郎 横浜美術館長  
千足 伸行 成城大学教授  
中村 英樹 名古屋造形芸術大学教授  
村田慶之輔 川崎市岡本太郎美術館長

愛知県美術館年報 1999 年度版  
2001 年 3 月発行  
編集 愛知県美術館  
発行 愛知県美術館  
名古屋市東区東桜1-13-2 ☎461-8525  
PHONE : 052-971-5511  
FAX : 052-971-5604  
表紙デザイン・本文レイアウト 小谷恭治  
印 刷 凸版印刷株式会社

**1999 Annual Report, Aichi Prefectural Museum of Art**  
Edited by  
Aichi Prefectural Museum of Art  
Published by  
Aichi Prefectural Museum of Art  
1-13-2 Higashisakura Higasiku,  
Nagoya, 461-8525, Japan  
Designed and layouted by  
Kyoji KOTANI  
Printed by  
Toppan Print Co.  
©2001  
Printed in Japan